

# 熊本県立大学中ホールトイレその他改修工事

図面リスト_意匠		図面リスト_電気設備		図面リスト_機械設備	
図番	図名名称	図番	図名名称	図番	図名名称
A-01	建築改修工事特記仕様書 (その1)	E-01	電気設備工事特記仕様書 (その1)	M-01	機械設備工事特記仕様書 (その1)
A-02	建築改修工事特記仕様書 (その2)	E-02	分電盤結線図・照明器具姿図・呼出装置参考姿図	M-02	【中ホール】平面図
A-03	建築改修工事特記仕様書 (その3)	E-03	【中ホール】平面図	M-03	【中ホール】給排水衛生設備 トイレ改修前後平面図・衛生器具明細表
A-04	建築改修工事特記仕様書 (その4)	E-04	【中ホール】電灯設備 トイレ改修前後平面図	M-04	【中ホール】換気設備 トイレ改修前後平面図・主要機器明細表
A-05	建築改修工事特記仕様書 (その5)	E-05	【中ホール】コンセント設備 トイレ改修前後平面図	M-05	【講義棟2号館】平面図
A-06	工事概要表、共通事項、付近見取図、配置図	E-06	【講義棟2号館】平面図	M-06	【講義棟2号館】給排水衛生設備 衛生器具明細表・撤去衛生器具明細表
A-07	改修前後外部・内部仕上表	E-07	【講義棟2号館】電灯設備 トイレ改修前後平面図	M-07	【講義棟2号館】給排水衛生設備 トイレ改修前後平面図
A-08	改修前後平面図(講義棟2号館)	E-08	【講義棟2号館】コンセント設備 トイレ改修前後平面図	M-08	【講義棟2号館】換気設備 トイレ改修前後平面図
A-09	改修前後平面図(中ホール)				
A-10	EXP.Jカバ-取替部 平面図(大ホールR階、総合管理学部棟3階)				
A-11	WC改修平面詳細図(講義棟2号館)				
A-12	WC改修平面詳細図(中ホール)				
A-13	建具キープラン				
A-14	建具表				
A-15	展開図1				
A-16	展開図2				
A-17	天井伏図				
A-18	雑詳細図1				
A-19	雑詳細図2				











## 工事概要表

工事名称	熊本県立大学中ホールトイレその他改修工事		
工事場所	熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号	用途地域：第2種住居専用地域	敷地面積：85,387.41㎡
対象建物	改修建物A-1：講義棟2号館	RC造3F	延床面積：2,670.85㎡ 建築面積：1,553.69㎡
	改修建物A-2：大ホール	RC造2F・B1F	延床面積：1,499.90㎡ 建築面積：1,128.90㎡
	改修建物A-3：総合管理学部棟	RC造5F・B1F	延床面積：5,560.56㎡ 建築面積：1,229.72㎡
	改修建物B：中ホール	RC造2F	延床面積：466.49㎡ 建築面積：538.54㎡
工事概要	改修建物A-1	：1階トイレ(男女各1、車椅子対応2)の内装更新、衛生機器の更新、レイアウト変更	
	改修建物A-2・3	：7か所「ミカ」内への漏水対策、屋根EXP. Jカー及び耐火帯の取替え	
	改修建物B	：1階トイレ(男女各1)の内装更新、衛生機器の更新、レイアウト変更	

## 共通事項

1	工事着手に先立ち現地確認を実施し、学校関係者にヒアリングを行った上で総合施工計画書を作成すること
2	総合施工計画書には工事使用範囲、及び作業動線、学校使用者の動線を記入した図面を添付すること
3	工事関係者と学校使用者の動線が重複する箇所の安全配慮を十分に行うこと
4	工事関係者は、所属を明らかにする腕章等を身に着け、本工事関係者である旨を明らかにすること
5	学校行事のヒアリングを行い、工事工程の管理を十分に行うこと
6	各種工事着手に先立ち、施工計画書を作成し、監督者の承認を受けること
7	本工事に使用する材料は、原則として全てF☆☆☆☆の規格に適合するものとする
8	防水工事は10年間保証の保証書を提出すること
9	工事範囲以外の建物の部分、又は既存工作物等を破損した場合は現況復旧とする
10	仕上げ材料の選定にあつては施工前に監督者及び発注者と十分協議の上決定のこと
11	工事中に汚染や損傷の恐れのある材料及び箇所は、適切な方法で養生すること
12	工事写真は、図面に記載している改修番号毎に着手前、施工中、施工後の記録を残すこと
13	完成写真は、改修部分が改修前と対比できる様に整理すること
14	工事写真、及び完成写真は監督者の承認を受けた撮影者により撮影し、ファイル綴じの上、発注者に2部提出すること
15	工事関係書類は電子化を行い、指定した記録メディアで提出をすること。電子化を行う書類は監督者の指示による



付近見取図



配置図

凡例  
 改修対象建物を示す

改修前後外部仕上表

建物記号・名称	外部改修部位	改修前後	床仕上げ
A-1 講義棟2号館 A-2 大ホール A-3 総合管理学部棟	外壁-屋根取合EXP.Jカバー(平部)	改修前	ステンレス製EXP.Jカバー(付属:軟質ポリ塩化ビニル補助シート)撤去
		改修後	ステンレス製EXP.Jカバー(クリア150程度、1h耐火付)新設
	外壁-屋根取合EXP.Jカバー(立上り部・笠木部)	改修前	ステンレス製EXP.Jカバー(付属:軟質ポリ塩化ビニル補助シート)撤去
		改修後	ステンレス製EXP.Jカバー(クリア150程度、1h耐火付)新設
	外壁-屋根取合EXP.Jカバー(出入口部)	改修前	ステンレス製EXP.Jカバー(付属:軟質ポリ塩化ビニル補助シート)撤去
		改修後	ステンレス製EXP.Jカバー(クリア150程度、1h耐火付)新設
講義棟改修対象トイレ廻り 外部床	改修前	300角ステンレス製止水栓点検用蓋、及び周囲床タイル撤去	
	改修後	300角ステンレス製床下点検口(充填タイプ)新設の上、床タイル補修	
B 中ホール	女子・男子WC出入口	改修前	-
		改修後	アルミ製ハンガー引き戸新設
	女子・男子WC出入口廻り床	改修前	既設散水栓廻り床タイル撤去
		改修後	散水栓移動(設備工事)後、床タイル補修

改修特記事項

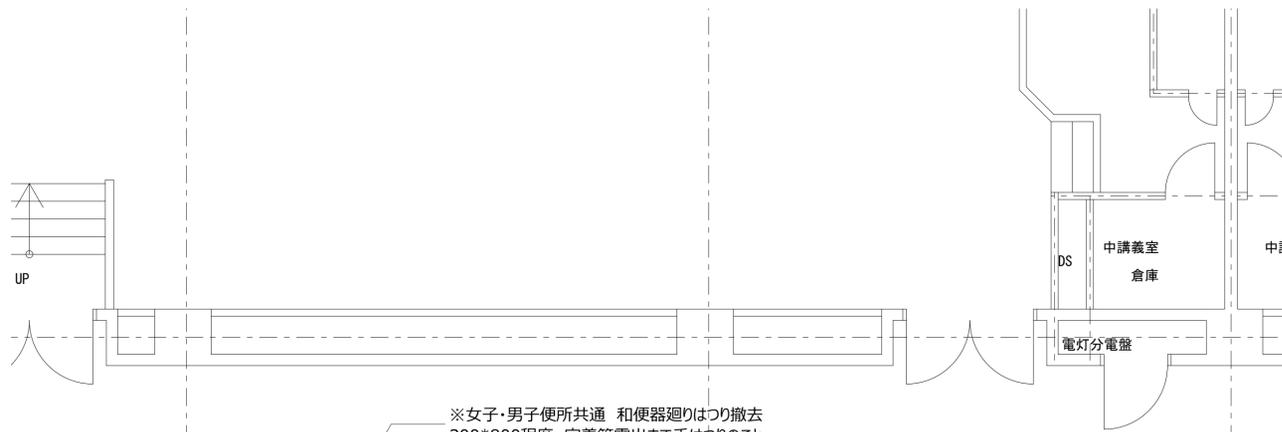
番号	特記事項	番号	特記事項
1	EXP.J部分の防水補助シートは、壁面、及び立上りの補助シート外側に延長し、雨水の抜け道を確保すること	13	特記なき限り、軽量鉄骨壁下地はW65とする
2	既設洋便器の開口塞ぎは設備工事とし、既設和便器の開口塞ぎは建築工事とする	14	ラインニング下地に使用する軽量鉄骨壁下地はW100とする
3	和便器の開口塞ぎにあたっては、床版の既存配筋が露出する部分まで手ハツリを行うこと 露出させた既存配筋に、フレア溶接にて補修鉄筋を溶着すること。溶接長は片面10d、若しくは両面5dとする	15	手摺、その他設備機器が取り付け壁面は、メーカー仕様により下地補強を施すこと
4	講義棟2号館の多目的WCの改修にあたり、床下はビット範囲外の為、床版の全面撤去を行うものとする 復旧用の配筋設置は、特記事項2と同じく既存配筋との溶接長を確保すること	16	中ホールトイレ改修にあたり、既設天井仕上の軟質石綿板はアスベスト含有形成板として取り扱うものとし、公共建築改修工事標準仕様書9章1節の他、各種基準・法令に即って適切な撤去・処分を行うこと
5	建物内の廃材搬出路、及び資材搬入路は巾2m程度とし、カーブ、及びゼブラバー等で範囲の明示を行うこと	17	
6	敷地内の工事用通路、作業員駐車場等、本工事で使用する範囲は総合仮設計画にて図面化し、大学の担当者、及び監理者の承認を受けること	18	
7	講義棟2号館トイレ改修にあたってはトイレ前面(廊下)に仮設間仕切り(6種)、及び木製扉を設置し、粉塵流出防止の為に仮設間仕切り取り合い部分の目張り処理等を行うこと	19	
8	講義棟2号館トイレ改修(設備工事)に関連し、廊下(PS、CPS前)に450角アルミ製天井点検口(目地タイプ)を設置すること	20	
9	上記以外の天井点検口は450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)とする。設置数は仕上備考欄を参照のこと	21	
10	床長尺塩ビシートは、東リ ノンワックスユームNWN同等品とする	22	
11	壁化粧ケイカル板(FK-D)は、ニチアス アスラックス200R同等品とする	23	
12	汚重陶板は、TOTO ハイドロセラフロAPU(薄型)同等品とする	24	

改修前後内部仕上表

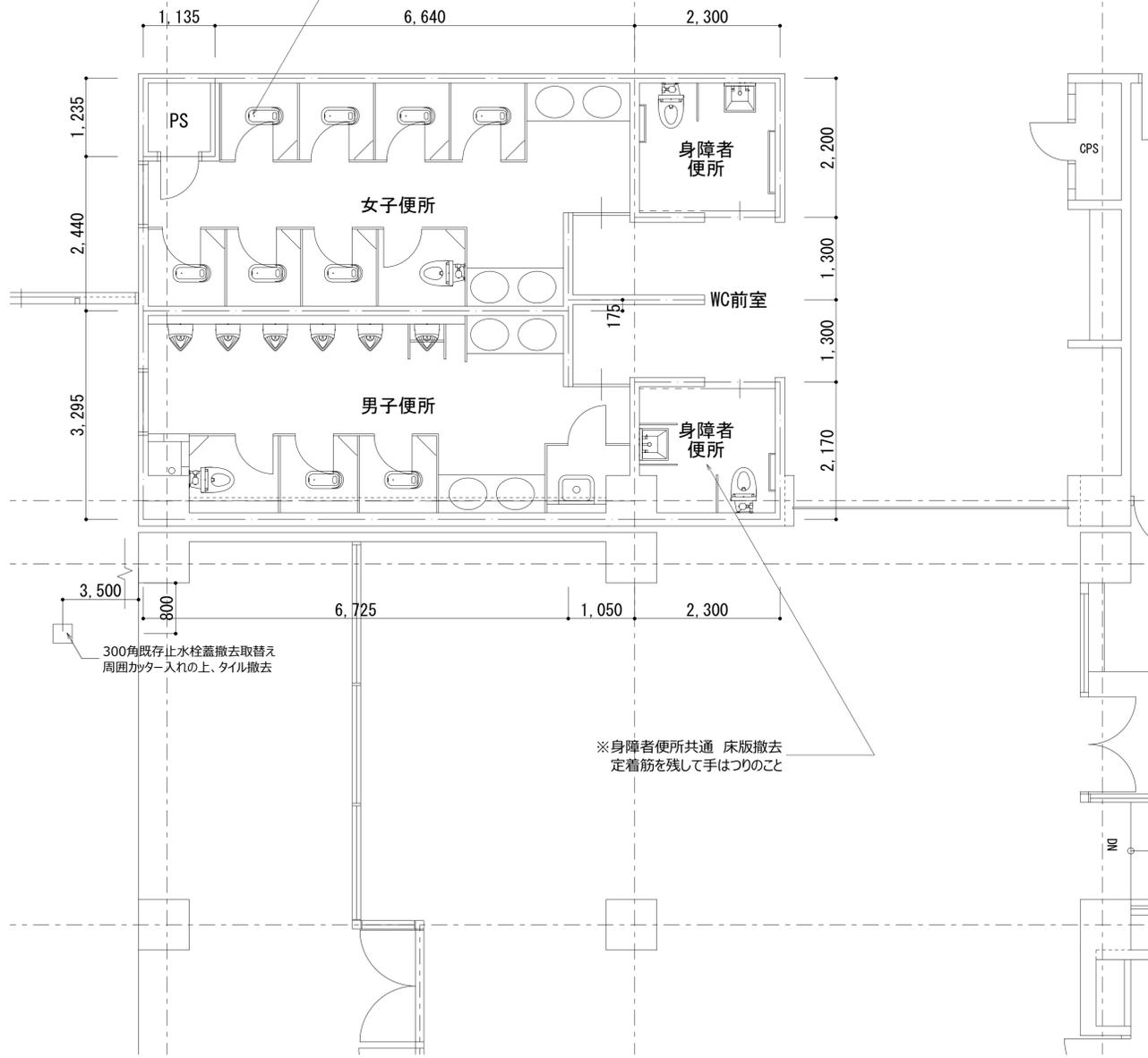
建物記号・名称	室名	改修前後	床仕上げ	幅木	壁仕上げ	天井仕上げ	天井廻り縁	天井高さ	備考
A-1 講義棟2号館	女子便所 → 女子WC	改修前	モルタルの上、モザイクタイル貼り → モザイクタイル撤去の上、クレン処理	-	コンクリートの上、100角半磁器質タイル貼り → 一部半磁器質タイル撤去の上、クレン、及び目荒し処理	天井LGS下地、t=9.0GB-D → 天井仕上、及び下地撤去(吊りボルト残し)	塩ビ製	2,500	150角アルミビクトサイン(平付)×2か所撤去、入研トイレバス撤去 大型鏡撤去
		改修後	和便器開口塞ぎ、外吹塗り(ハクリグ)の上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS巾木 H=60	t=12.5GB-S(GL工法)の上、t=6.0FK-D貼り 一部、LGS(下地張用)下地、t=12.5GB-Sの上、t=6.0FK-D貼り 一部モルタル薄塗補修の上、EP-G塗装	天井LGS下地(高さ調整)、t=6.0FK目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2,500	トイレバス、鏡見鏡(SUS伸)600*1800、SUSラインング天板W150 建具木製額縁950*960 SOP塗装、SUS壁見切(縦伸)W114 450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)
	男子便所 → 男子WC	改修前	モルタルの上、モザイクタイル貼り → モザイクタイル撤去の上、クレン処理	-	コンクリートの上、100角半磁器質タイル貼り → 一部半磁器質タイル撤去の上、クレン、及び目荒し処理	天井LGS下地、t=9.0GB-D → 天井仕上、及び下地撤去(吊りボルト残し)	塩ビ製	2,500	150角アルミビクトサイン(平付)撤去、入研トイレバス撤去、大型鏡撤去 床下点検口撤去(特共)
		改修後	和便器開口塞ぎ、外吹塗り(ハクリグ)の上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS巾木 H=60	t=12.5GB-S(GL工法)の上、t=6.0FK-D貼り 一部、LGS(下地張用)下地、t=12.5GB-Sの上、t=6.0FK-D貼り 一部モルタル薄塗補修の上、EP-G塗装	天井LGS下地(高さ調整)、t=6.0FK目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2,500	トイレバス、鏡見鏡(SUS伸)600*1800、SUS床下点検口600角更新 SUSラインング天板W150*W200、t=6.0汚重陶板、SUS壁見切(縦伸)W114 建具木製額縁950*960 SOP塗装、450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)
	身障者便所(女子側) → 多目的WC1	改修前	コンクリートの上、t=2.0長尺塩ビシート → 仕上げ、及び床版撤去(走着鉄筋残し)	-	コンクリートの上、100角半磁器質タイル貼り → 半磁器質タイル撤去の上、クレン、及び目荒し処理	天井LGS下地、t=9.0GB-D → 天井仕上、及び下地撤去(吊りボルト残し)	塩ビ製	2,500	150角アルミビクトサイン(平付)既存利用
	改修後	床版撤去後、モルタル塗りの上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS巾木 H=60	t=12.5GB-S(GL工法)の上、t=6.0FK-D貼り、一部モルタル薄塗補修の上、EP-G塗装	天井LGS下地(高さ調整)、t=6.0FK目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2,500	既設LSD障子面カテンティングシート(200角ビクト+文字)貼り	
身障者便所(男子側) → 多目的WC2	改修前	コンクリートの上、t=2.0長尺塩ビシート → 仕上げ、及び床版撤去(走着鉄筋残し)	-	コンクリートの上、100角半磁器質タイル貼り → 半磁器質タイル撤去の上、クレン、及び目荒し処理	天井LGS下地、t=9.0GB-D → 天井仕上、及び下地撤去(吊りボルト残し)	塩ビ製	2,500	150角アルミビクトサイン(平付)既存利用	
改修後	床版撤去後、モルタル塗りの上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS巾木 H=60	t=12.5GB-S(GL工法)の上、t=6.0FK-D貼り、一部モルタル薄塗補修の上、EP-G塗装	天井LGS下地(高さ調整)、t=6.0FK目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2,500	既設LSD障子面カテンティングシート(200角ビクト+文字)貼り		
WC前室(廊下)	改修前	モルタル下地、300角磁器質タイル貼り → 既存のまま	-	コンクリート打放の上、吹付タイル 化粧目地付き → 既存のまま、一部吹付タイル撤去、クレン処理(男女WC入口前RC壁のみ)	天井LGS下地、t=9.0GB-R+t=12.0DR(リブ付) → 天井仕上、及び下地撤去(吊りボルト残し)	塩ビ製	3,000	-	
	改修後	-	-	吹付タイル撤去部分、RC面下地処理の上、EP-Gデザイン塗装(WCサイン、及び文字入れ)	天井LGS下地(高さ調整)、t=9.5GB-R+t=12.0DR(リブ付)	塩ビ製	3,000	450角アルミ製天井点検口(目地タイプ)×2ヶ所(PS、CPS前)	
B 中ホール	女子WC	改修前	コンクリートの上、モザイクタイル貼り → モザイクタイル撤去の上、クレン処理	-	コンクリートの上、100角半磁器質タイル貼り → 半磁器質タイル撤去の上、クレン、及び目荒し処理	天井LGS下地、t=6.0軟質石綿板の上、AEP塗装 → 天井仕上、及び下地撤去(吊りボルト残し)	塩ビ製	2,200	100角アルミビクトサイン撤去、大型鏡撤去、建具木製額縁撤去1500*300
		改修後	和便器開口塞ぎ、外吹塗り(ハクリグ)の上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS巾木 H=60	t=12.5GB-S(GL工法)の上、t=6.0FK-D貼り	天井LGS下地、t=6.0FK目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2,200	トイレバス、新設前面カテンティングシート(200角ビクト+文字)貼り、鏡見鏡(SUS伸)600*1800 SUSラインング天板W120*W200、建具木製額縁1500*300 SOP塗装、鏡360*1000×2 SUS製600角床下点検口(モルタル充填)、450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)×2ヶ所
男子WC	改修前	コンクリートの上、モザイクタイル貼り → モザイクタイル撤去の上、クレン処理	-	コンクリートの上、100角半磁器質タイル貼り → 半磁器質タイル撤去の上、クレン、及び目荒し処理	天井LGS下地、t=6.0軟質石綿板の上、AEP塗装 → 天井仕上、及び下地撤去(吊りボルト残し)	塩ビ製	2,200	100角アルミビクトサイン撤去、大型鏡撤去、建具木製額縁撤去1500*300	
	改修後	和便器開口塞ぎ、外吹塗り(ハクリグ)の上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS巾木 H=60	t=12.5GB-S(GL工法)の上、t=6.0FK-D貼り	天井LGS下地、t=6.0FK目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2,200	トイレバス、新設前面カテンティングシート(200角ビクト+文字)貼り、鏡見鏡(SUS伸)600*1800 SUSラインング天板W200、建具木製額縁1500*800 SOP塗装、t=6.0汚重陶板 SUS製600角床下点検口(モルタル充填)、450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)×2ヶ所	

下地・仕上凡例

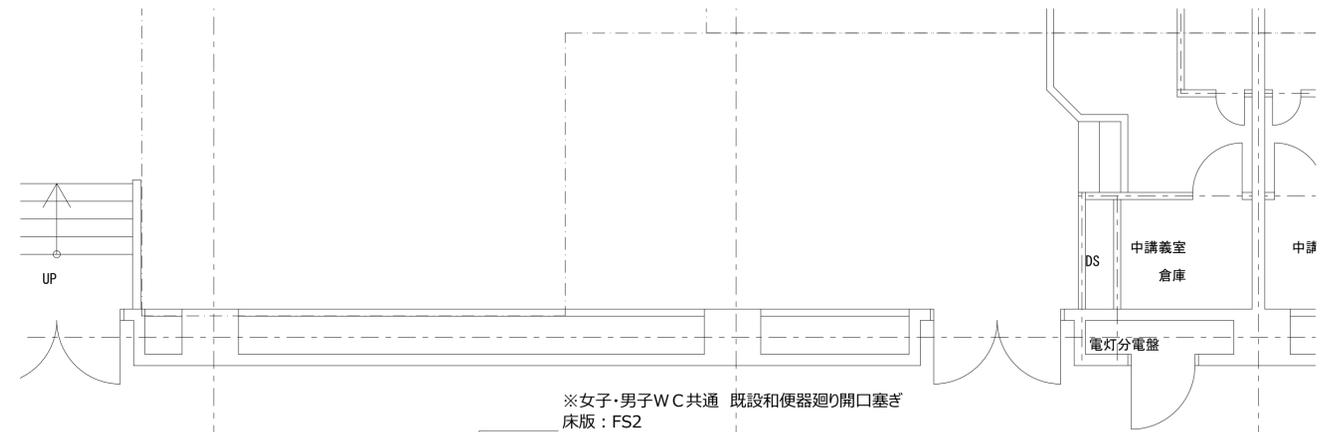
■乾式壁下地、床下地、天井下地凡例				■内装制限凡例				■塗装凡例				■特記事項			
一般A	LGS下地PB12.5+9.5(FL~天井)	遮音AA <WS-AA>	TLD相当乾式壁 吉野石膏9'4"×9'4"×75(遮音構造SOI-0066)同程度 (SL~SL)・耐火構造FP060NP-9156	不	床下地 下地仕上げ共不燃材使用	OS	木肌	EP-G	つや有合成樹脂エポキシペイント	EP-N	超低臭エポキシペイント	■特記事項	各凡例、一覧表に記載の符号等は、本表以外の設計図にも適用する。		
一般B	LGS下地耐水PB12.5(FL~天井)	遮音A <WS-A>	TLD相当乾式壁 吉野石膏9'4"×9'4"×65(遮音構造SOI-0066)同程度 (SL~SL)・耐火構造FP060NP-9156	準不1	壁、天井の仕上を準不燃材以上	OC	木肌	EP-M	多彩模様塗料	ET	複層塗料E(アクリル)	・触媒アクリル"発"乾建築材料は、特記なき限り☆☆☆☆仕様とする。			
耐火A <WT>	LGS下地GB-F15+15両面張(SL~SL) ・耐火構造FP060NP-0174	遮音B <WS-B>	TLD相当乾式壁 吉野石膏9'4"×9'4"×60(遮音構造SOI-0032)同程度 (SL~SL)・耐火構造FP060NP-9156	準不2	FL+1.2m以上の壁、天井の仕上を準不燃材以上	SOP	合成樹脂調合ペイント	EP-T	合成樹脂エポキシ模様塗料	RP	薄塗料E(アクリル)	・"触媒アクリル"発"乾建築材料は、特記なき限り☆☆☆☆仕様とする。			
耐火B1 <WTC1>	押出成形セメント板t60(内壁用) ・耐火構造FP060NP-9070	遮音C <WS-C>	TLD相当乾式壁 吉野石膏A-2000-WI(遮音構造SOI-0040)同程度 (SL~SL)・耐火構造FP060NP-9156	難1	壁、天井の仕上を難燃材以上	FE	外酸樹脂エポキシ	NAD	アクリル系非水分散形塗料	A-BE	アクリル樹脂焼付	・"触媒アクリル"発"乾建築材料は、特記なき限り☆☆☆☆仕様とする。			
耐火B2 <WTC2>	押出成形セメント板t60(外壁用) ・耐火構造FP060NP-9037	遮音D <WS-D>	LGS下地PB12.5+9.5 (GW50-24kg/m3充填) ※仕上及び床版の場合にLGS下地耐水PB12.5 下地耐水	難2	FL+1.2m以上の壁、天井の仕上を難燃材以上	UE	ウレタン樹脂エポキシ	EXP	珪酸樹脂エポキシ	U-BE	ウレタン樹脂焼付	・"触媒アクリル"発"乾建築材料は、特記なき限り☆☆☆☆仕様とする。			
RC	コンクリート下地			難3	天井の仕上を準不燃材、壁の仕上を木材等又は 難燃材以上(国土交通省告示1439号)	UC	ウレタン樹脂エポキシ	TEXP	珪酸樹脂エポキシ	F-BE	珪酸樹脂焼付	・水ががりの恐れのある部分に使用する石膏ボードは、耐水タイプとする。			
						LE	ラッカーエポキシ	GP	塩化エポキシ	CWP	コンクリート面増水剤塗り				
						CL	クリルエポキシ	ASE	アクリルエポキシ樹脂エポキシ	ZP	溶剤垂れ防止の上り巻処理				
						VE	塩化エポキシ樹脂エポキシ	ASC	アクリルエポキシ樹脂エポキシ						
						AE	アクリル樹脂エポキシ	FUE	常温乾燥珪酸樹脂エポキシ						
						AC	アクリル樹脂エポキシ	FUC	常温乾燥珪酸樹脂エポキシ						
						EP	合成樹脂エポキシペイント	WP	無公害木材保護着色塗料						
■認定番号一覧表/※"略号"一覧表				■排煙設備凡例				■略号凡例							
GB-R9.5	石膏ボードt=9.5	QM-9828	GB-F	強化石膏ボードt=12.5,15,21	NM-8615	GW	グラスウール保温板	NM-8605		FL	床仕上げの基準値	AL	珪酸	VS	ビニル床シート
GB-R12.5	石膏ボードt=12.5	NM-8619	GB-H	硬質石膏ボードt=9.5,12.5,15	NM-9645	GW-D	グラスウール化粧保温板	NM-8606		SL	FLからの"面基準値"	SUS	ステンレス	TC	タイルボード
GB-R15	石膏ボードt=15	NM-8612	GB-P	吸音用穴あき石膏ボードt=9.5	QM-9827		吹付け吹付板t=10以上	NM-8601		CH	天井高	LGS	軽量鉄骨	CP	カーペット
GB-D9.5	化粧石膏ボードt=9.5	QM-9824	SGB8	スリット石膏ボードt=8	NM-8315		不燃化粧板	NM-2439		t	材厚	V	塩化エポキシ	OA	フローティング
GB-D12.5	化粧石膏ボードt=12.5	NM-8614	DR	吹付け化粧石膏ボードt=9~19	NM-8599		ガラス	NM-8606				CB	コンクリート吹付	SF	置き床
GB-NC9.5	不燃石膏ボードt=9.5	NM-8613	FK	化粧石膏ボードt=6,8	NM-8578		有孔繊維強化石膏板	NM-9028		RC	コンクリート	TB	フローティング		
GB-D(不)	不燃化粧石膏ボードt=9.5	NM-1864	FK-D	化粧石膏ボードt=6	NM-8577		突板塗装不燃化粧板	NM-1739		LC	軽量コンクリート				
GB-D(W)	化粧石膏ボード(木目)t=9.5	QM-9824	FK-H5	硬質化粧石膏ボードt=5	NM-8577		ビニル	QM-9411		MT	珪酸	ALC	ALC		
GB-S	シート"石膏"石膏ボードt=9.5,12.5	QM-9826	F	化粧石膏ボードt=9.5,12.5	NM-8576		不燃"珪酸"	NM-9904		S	珪酸	ECP	押出成形セメント板		
GB-S(不)	不燃シート"石膏"石膏ボードt=12.5	NM-9639	WB15	木毛セメント板t=15	建告1401		準不燃化粧板t=12	QM-0527		W	木	PC	アクリルコンクリート		



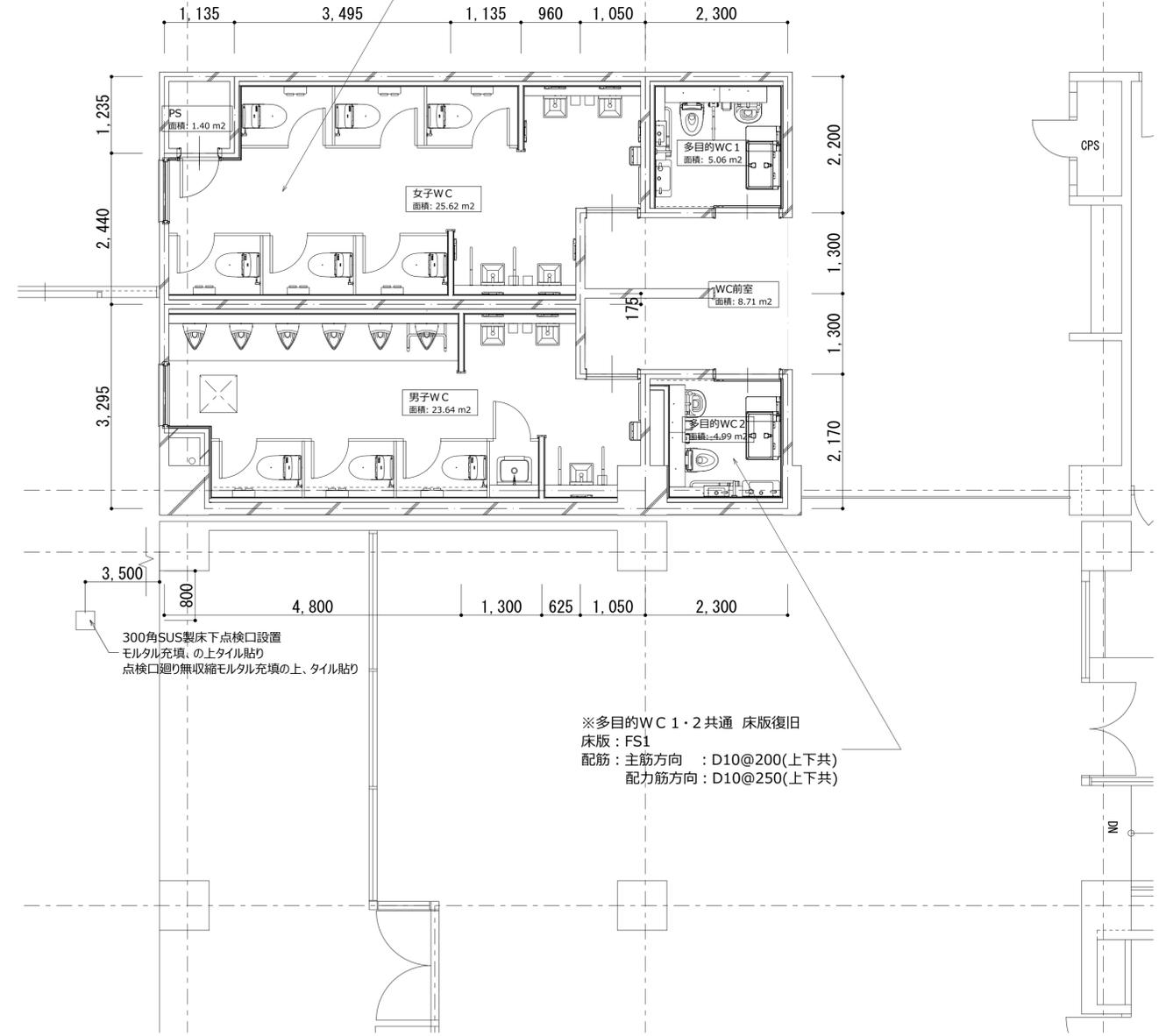
※女子・男子便所共通 和便器廻りはつり撤去  
300\*800程度 定着筋露出まで手はつりのこと



A3-1:100 既存平面図(講義棟2号館) A1-1:50



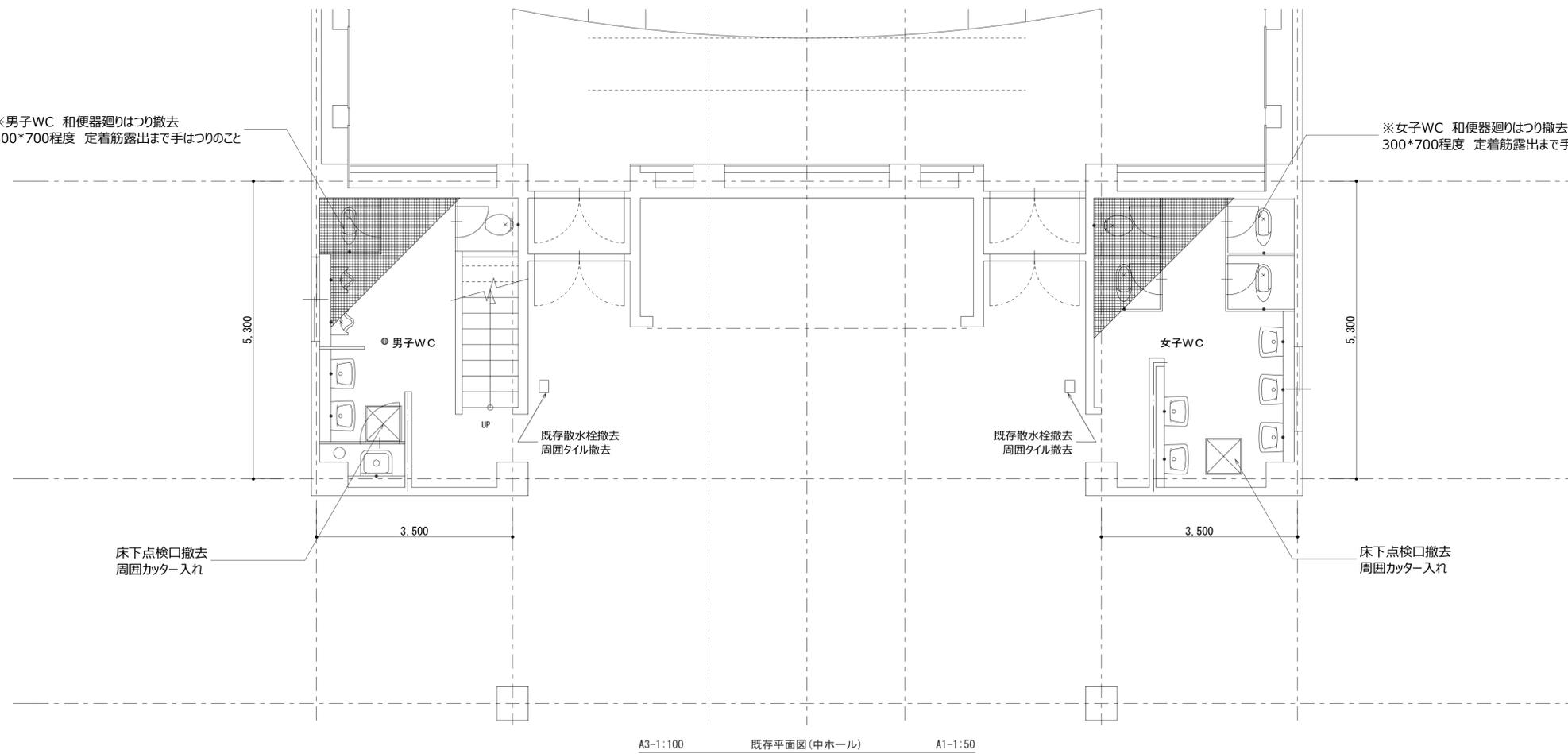
※女子・男子WC共通 既設和便器廻り開口塞ぎ  
床版: FS2  
配筋: 主筋方向 : D13@200(上下共)  
配力筋方向 : D10@200(上下共)



A3-1:100 改修平面図(講義棟2号館) A1-1:50

※男子WC 和便器廻りはつり撤去  
300\*700程度 定着筋露出まで手はつりのこと

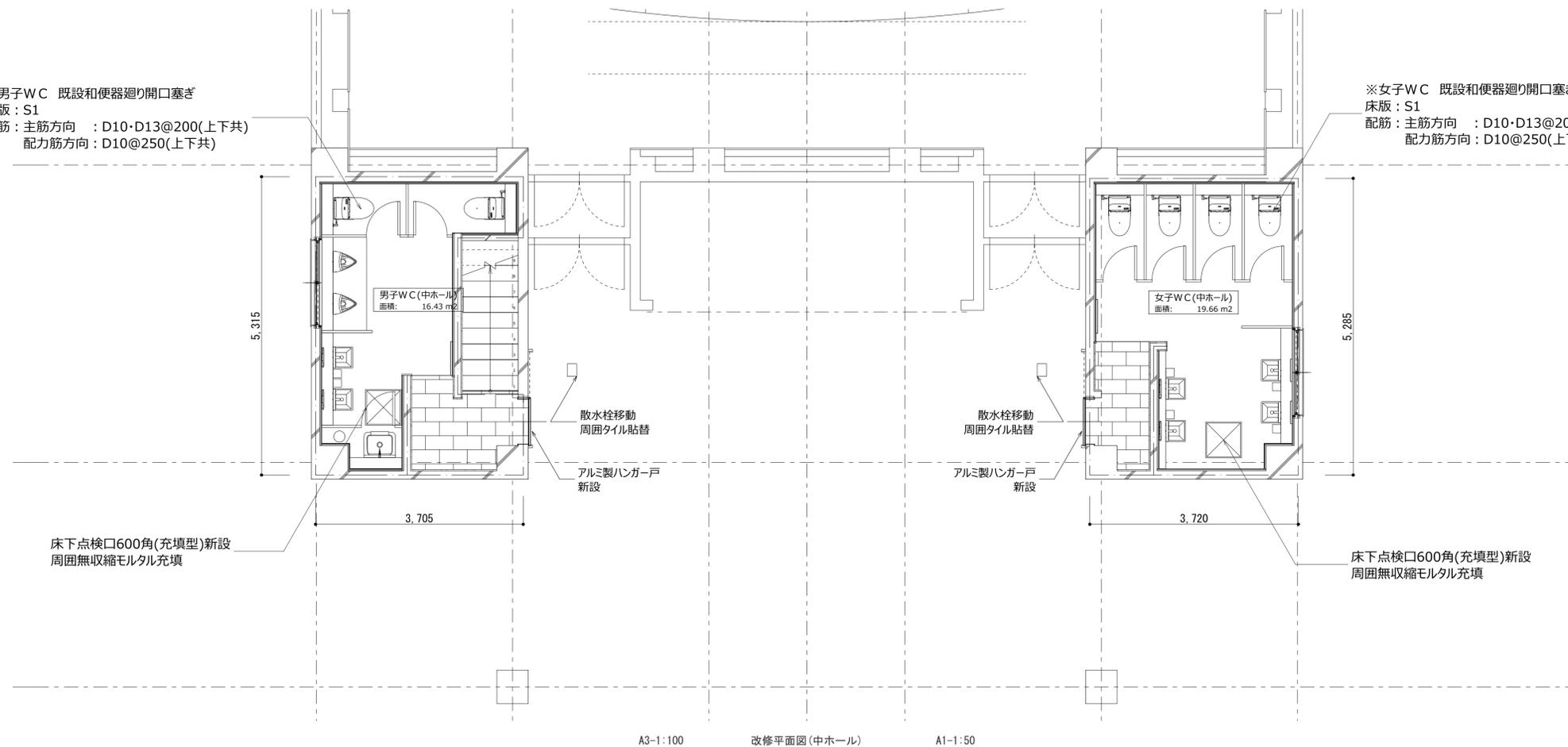
※女子WC 和便器廻りはつり撤去  
300\*700程度 定着筋露出まで手はつりのこと



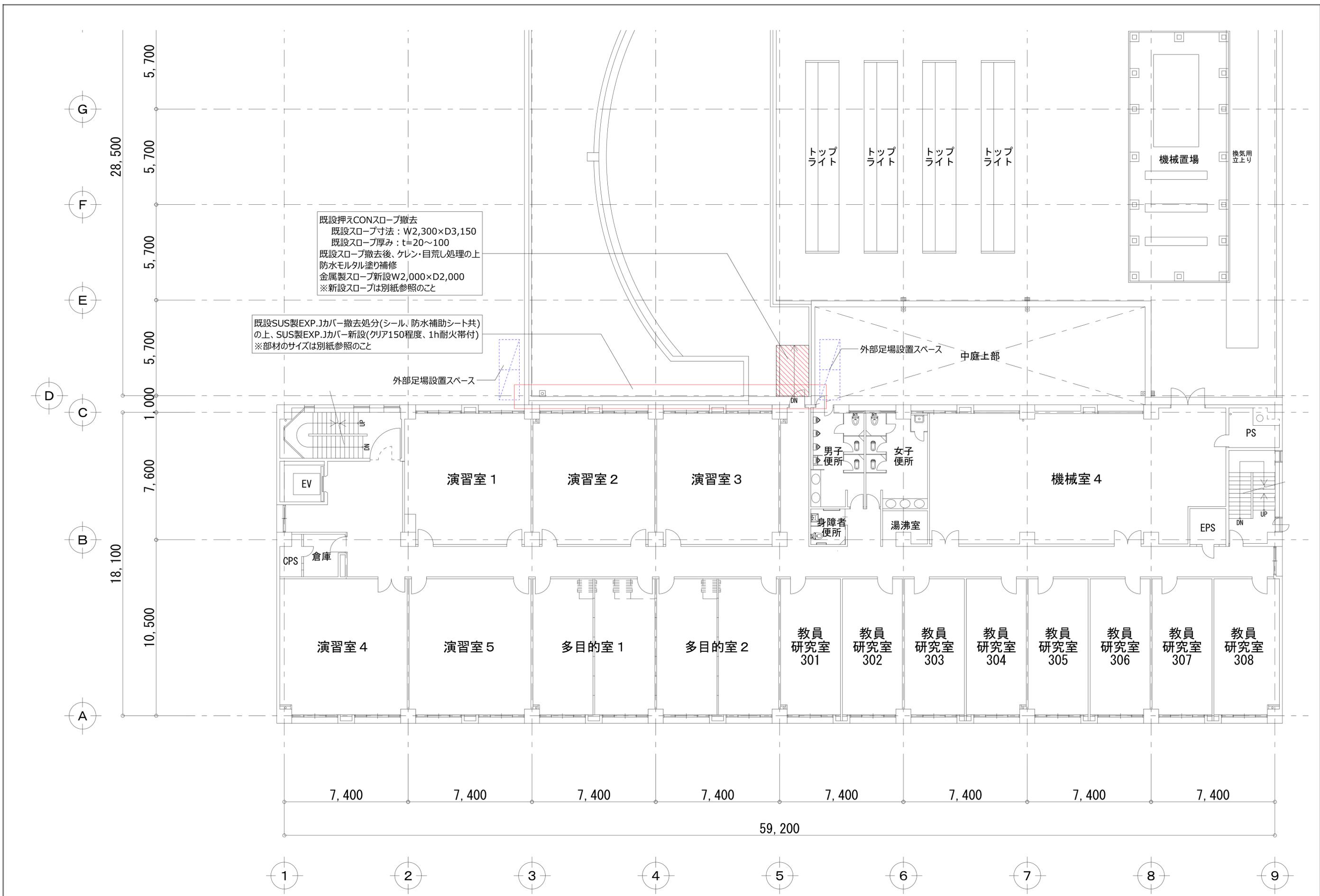
A3-1:100 既存平面図(中ホール) A1-1:50

※男子WC 既設和便器廻り開口塞ぎ  
床版：S1  
配筋：主筋方向：D10・D13@200(上下共)  
配力筋方向：D10@250(上下共)

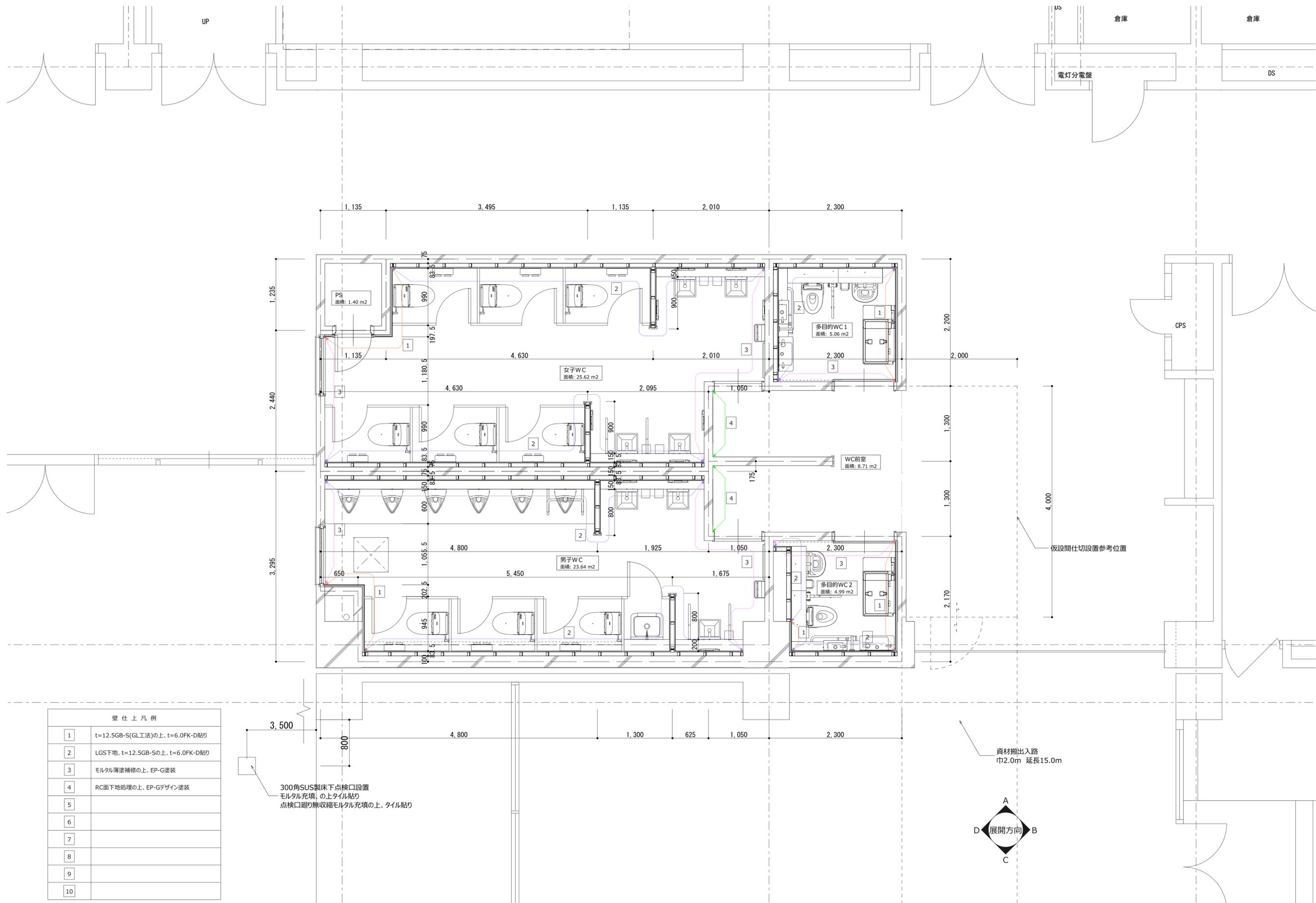
※女子WC 既設和便器廻り開口塞ぎ  
床版：S1  
配筋：主筋方向：D10・D13@200(上下共)  
配力筋方向：D10@250(上下共)



A3-1:100 改修平面図(中ホール) A1-1:50



A3-1:200 EXP. Jカバー取替部 平面図 A1-1:100

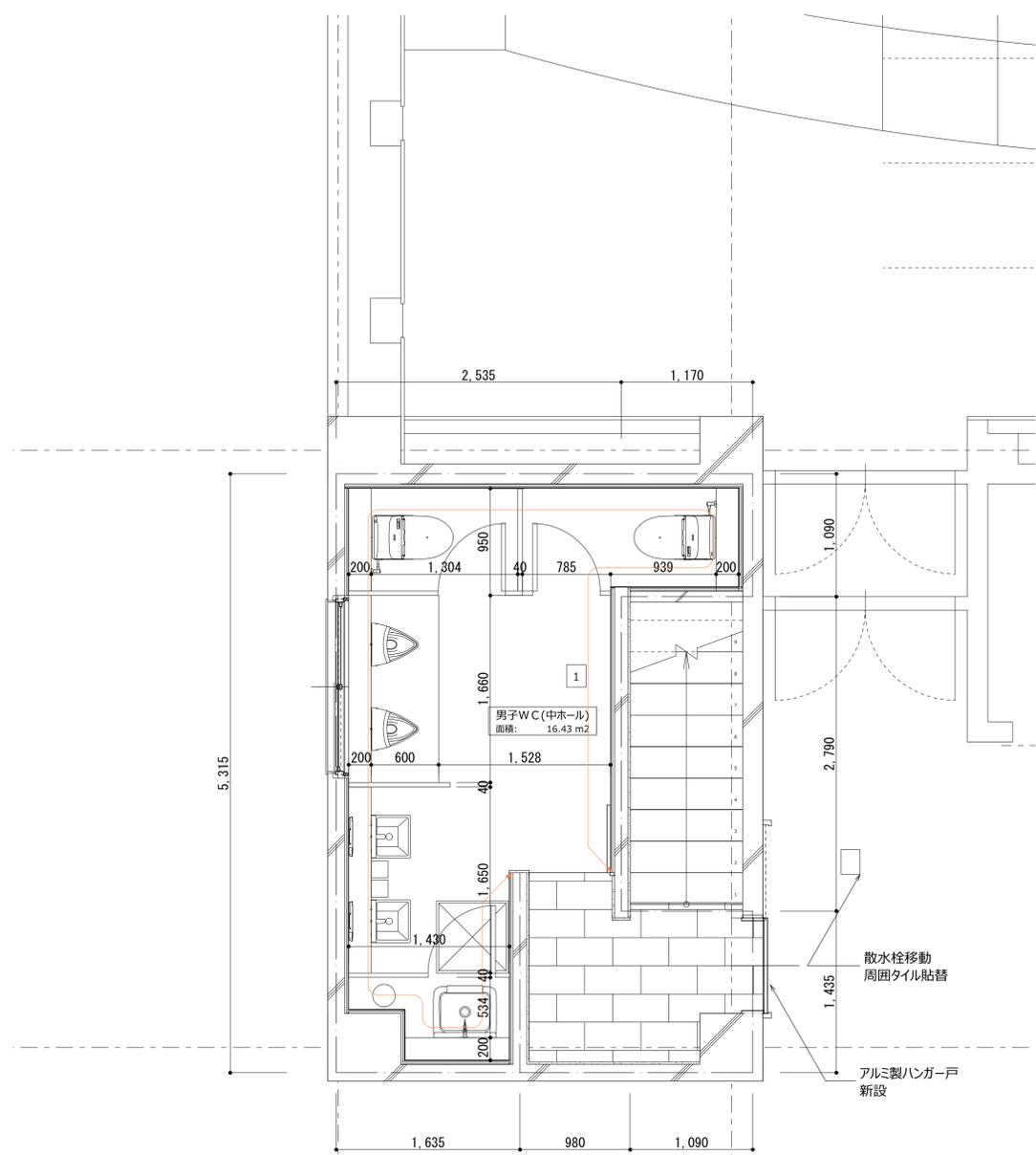


壁仕上凡例

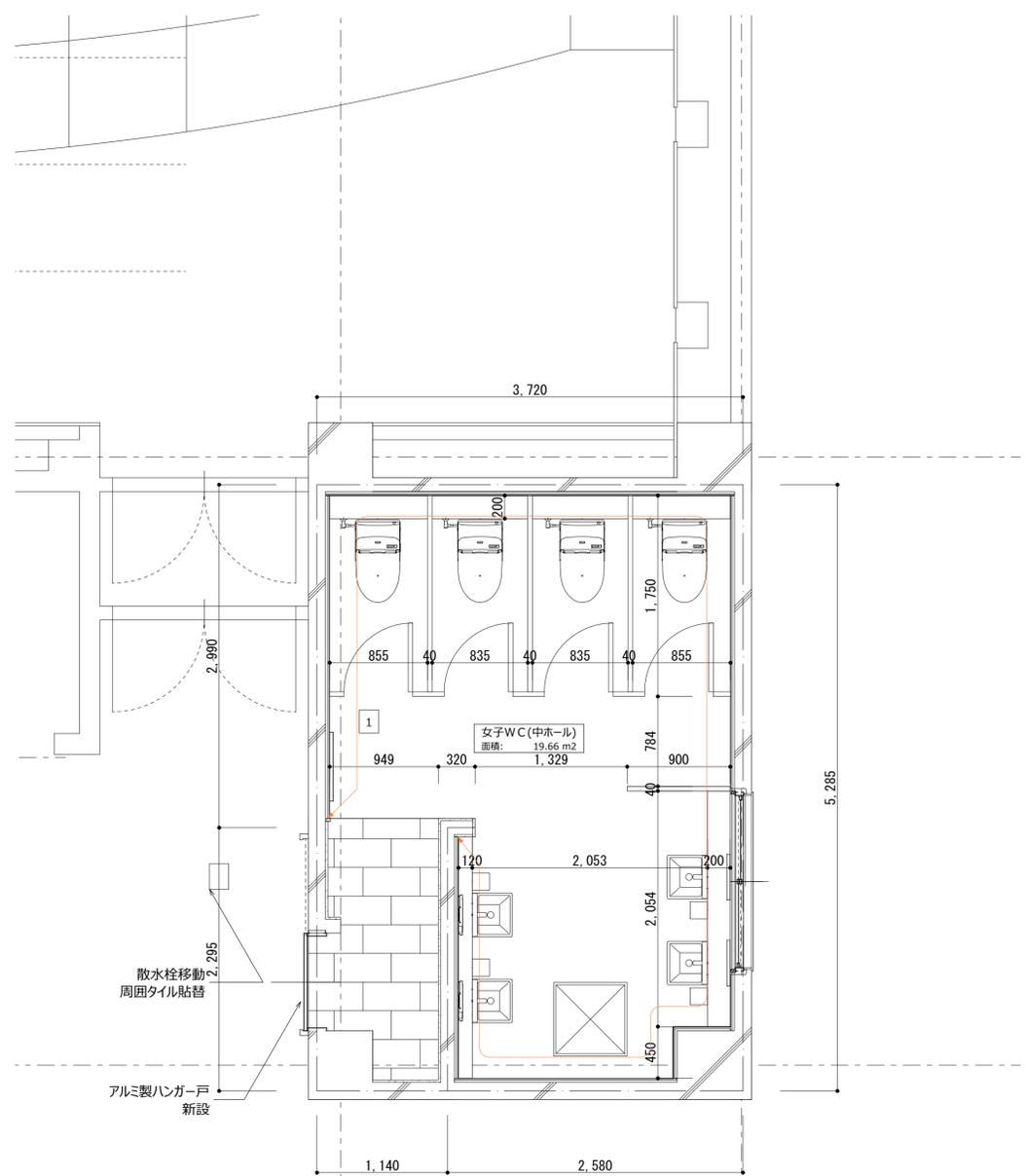
1	t=12.5GB-S(GL工法)の上、t=6.0FK-D貼り
2	LGS下地、t=12.5GB-Sの上、t=6.0FK-D貼り
3	モルタル薄塗補修の上、EP-G塗装
4	RC面下地処理の上、EP-Gデザイン塗装
5	
6	
7	
8	
9	
10	

300角SUS製床下点検口設置  
 モルタル充填、の上タイル貼り  
 点検口廻り無収縮モルタル充填の上、タイル貼り

A3-1:60 改修平面詳細図(講義棟2号館) A1-1:30

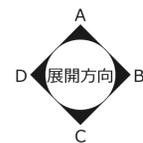


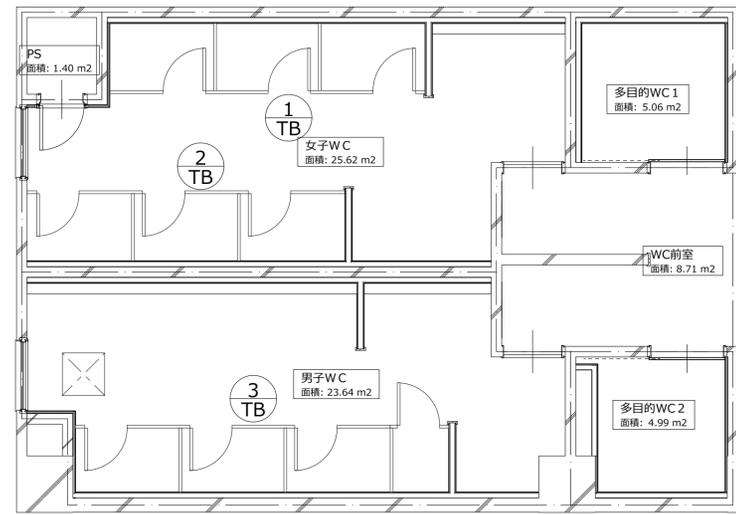
A3-1:60 改修平面詳細図(中ホール男子WC) A1-1:30



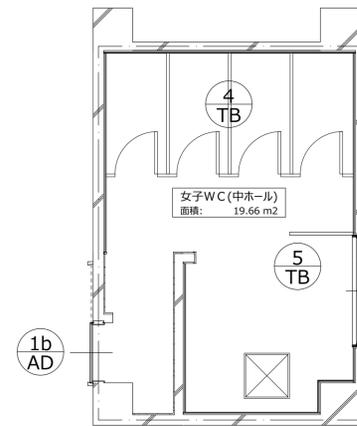
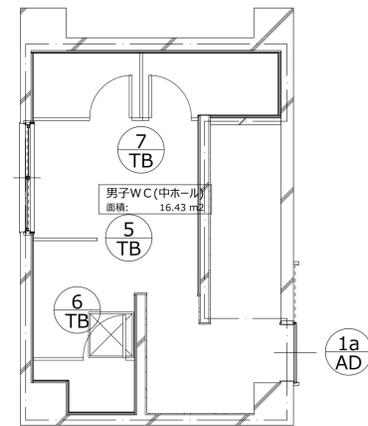
A3-1:60 改修平面詳細図(中ホール女子WC) A1-1:30

壁仕上凡例	
1	t=12.5GB-S(GL工法)の上、t=6.0FK-D貼り
2	LGS下地、t=12.5GB-Sの上、t=6.0FK-D貼り
3	モルタル薄塗補修の上、EP-G塗装
4	RC面下地処理の上、EP-Gデザイン塗装
5	
6	
7	
8	
9	
10	





A3-1:100 講義棟 キープラン A1-1:50

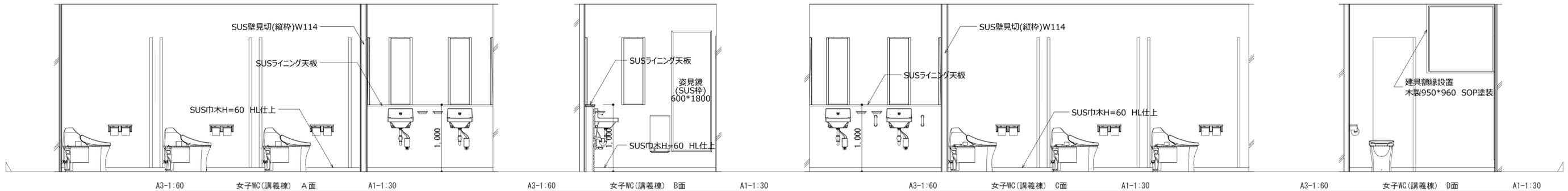


A3-1:100 中ホール キープラン A1-1:50

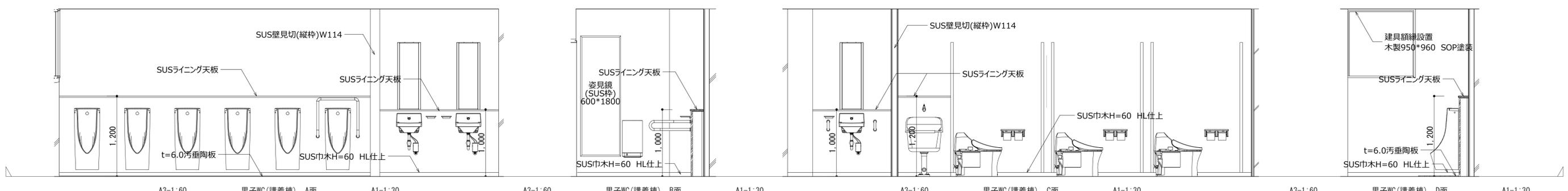
形式	アルミ製 片引きハンガー戸(躯体外付け建具)	トイレブース	トイレブース	トイレブース	
室名	女子・男子WC(中ホール)	女子WC(講義棟)	女子WC(講義棟)	男子WC(講義棟)	
姿 図					
	数量	AD-1a・・・1 AD-1b・・・1	1	1	1
	仕上げ	カラーアルミ	t=30 高圧メラミン化粧板	t=30 高圧メラミン化粧板	t=30 高圧メラミン化粧板
	ガラス	t=6.0 型板 150*300	-	-	-
	枠	カラーアルミ	-	-	-
金物	引き棒(外側)、引き手(内側)、シリンダー錠、ハンガー金物、半自動閉鎖装置(ストップ付)、他標準	リムボルト、戸当たり帽子掛け、ラバトリージ、SUS巾木、SUS頭繋ぎ、他標準一式	リムボルト、戸当たり帽子掛け、ラバトリージ、SUS巾木、SUS頭繋ぎ、他標準一式	リムボルト、取っ手、戸当たり帽子掛け、ラバトリージ、SUS巾木、SUS頭繋ぎ、他標準一式	
備考	ガラスの開閉率は30%程度とする。開閉方向はキープランを参照のこと	扉は常時開放状態とする	扉は常時開放状態とする	扉は掃除除し部分除き、常時開放状態とする	
形式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	
室名	女子WC(中ホール)	女子・男子WC(中ホール)	男子WC(中ホール)	男子WC(中ホール)	
姿 図					
	数量	1	2	1	1
	仕上げ	t=30 高圧メラミン化粧板	t=30 高圧メラミン化粧板	t=30 高圧メラミン化粧板	t=30 高圧メラミン化粧板
	ガラス	-	-	-	-
	枠	-	-	-	-
金物	リムボルト、戸当たり帽子掛け、ラバトリージ、SUS巾木、SUS頭繋ぎ、他標準一式	SUS巾木、他標準一式	取っ手、ラバトリージ、SUS巾木、SUS頭繋ぎ、他標準一式	リムボルト、戸当たり帽子掛け、ラバトリージ、SUS巾木、SUS頭繋ぎ、他標準一式	
備考	扉は常時開放状態とする	-	扉は常時閉鎖状態とする	扉は常時開放状態とする	
形式					
室名					
姿 図					
	数量				
	仕上げ				
	ガラス				
	枠				
金物					
備考					

- 建具種類凡例
- AD アルミ製片引きハンガー戸
  - SD 鋼製戸
  - LSD 鋼製軽扉戸
  - PSD 鋼製点検口
  - STD アルミ製戸
  - WD 木製戸
  - CW カネワール
  - GS ガラスクワン
  - AW アルミ製窓
  - SW 鋼製窓
  - STW アルミ製窓
  - WW 木製窓
  - SS 鋼製重畳シャッター
  - STS アルミ製重畳シャッター
  - SLS 鋼製軽重畳シャッター
  - ALS アルミ製軽重畳シャッター
  - STG アルミ製グリルシャッター
  - SSS シートシャッター
  - AG アルミ製ガラス
  - SG 鋼製ガラス
  - STG アルミ製ガラス
  - WG 木製ガラス
  - GSH ガラス製防煙垂れ壁
  - MSH 可動式防煙垂れ壁
  - SP パネーション
  - MP アルミインクウォール
  - TB トイレブース
  - TL トランプライト

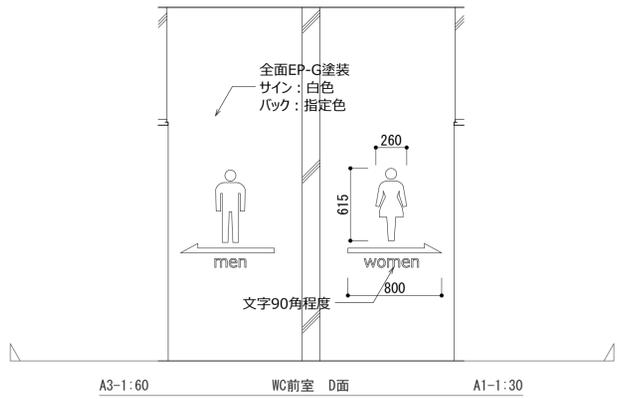
- ガラス凡例
- FL 20t板ガラス
  - F 型板ガラス
  - A 熱線吸収20t板ガラス
  - R 熱線反射ガラス
  - AR 熱線吸収反射板ガラス
  - HR 高性能熱線反射ガラス
  - T 強化ガラス
  - T(F) 強化ガラス
  - HS 倍強度ガラス
  - DSHA 倍強度熱線吸収ガラス
  - L 合わせガラス
  - PG 複層ガラス(A\*P\*ガラス)
  - LE Low-E複層ガラス
  - PW 網入り板ガラス
  - FW 網入り型板ガラス
  - AW 熱線吸収網入り板ガラス
  - X 鉛入りガラス
  - FK 耐熱ガラス(特防)
  - GB ガラスブロック
  - PB 樹脂系合成樹脂板
  - AL アルミ系合成樹脂材



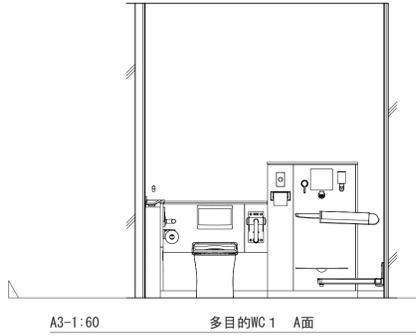
A3-1:60 女子WC(講義棟) A面 A1-1:30      A3-1:60 女子WC(講義棟) B面 A1-1:30      A3-1:60 女子WC(講義棟) C面 A1-1:30      A3-1:60 女子WC(講義棟) D面 A1-1:30



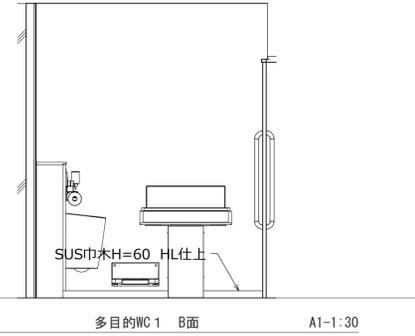
A3-1:60 男子WC(講義棟) A面 A1-1:30      A3-1:60 男子WC(講義棟) B面 A1-1:30      A3-1:60 男子WC(講義棟) C面 A1-1:30      A3-1:60 男子WC(講義棟) D面 A1-1:30



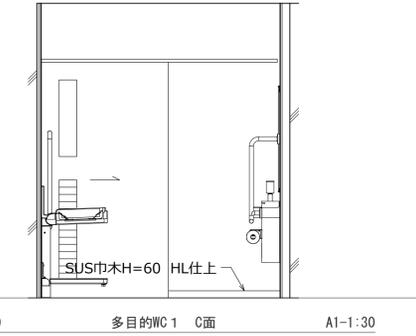
A3-1:60 WC前室 D面 A1-1:30



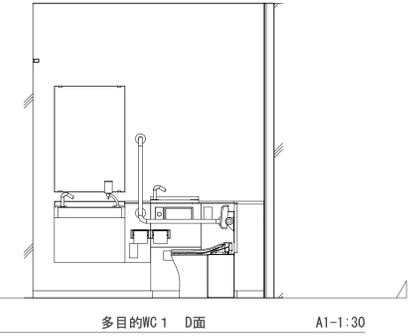
A3-1:60 多目的WC 1 A面 A1-1:30



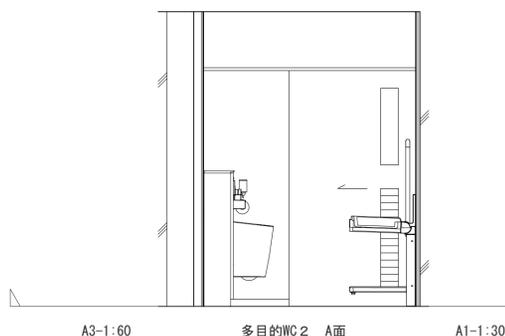
A3-1:60 多目的WC 1 B面 A1-1:30



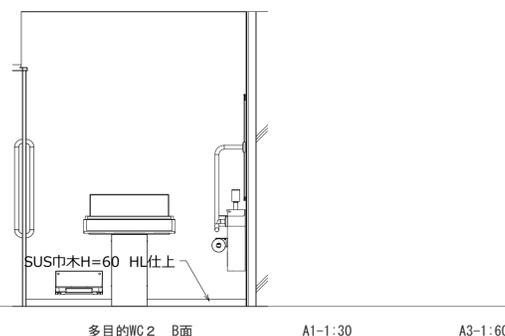
A3-1:60 多目的WC 1 C面 A1-1:30



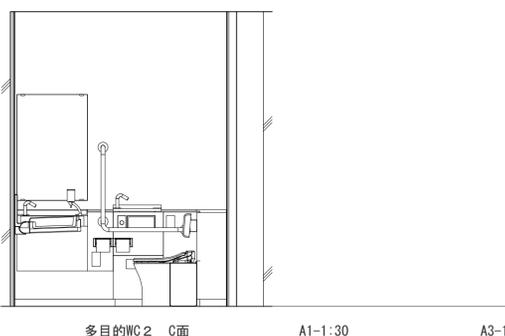
A3-1:60 多目的WC 1 D面 A1-1:30



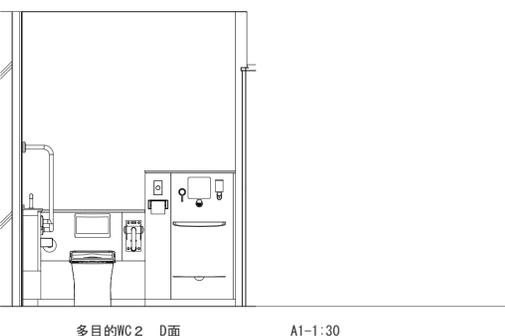
A3-1:60 多目的WC 2 A面 A1-1:30



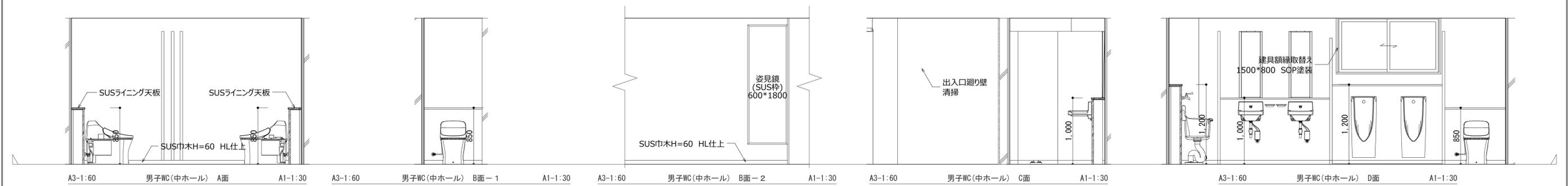
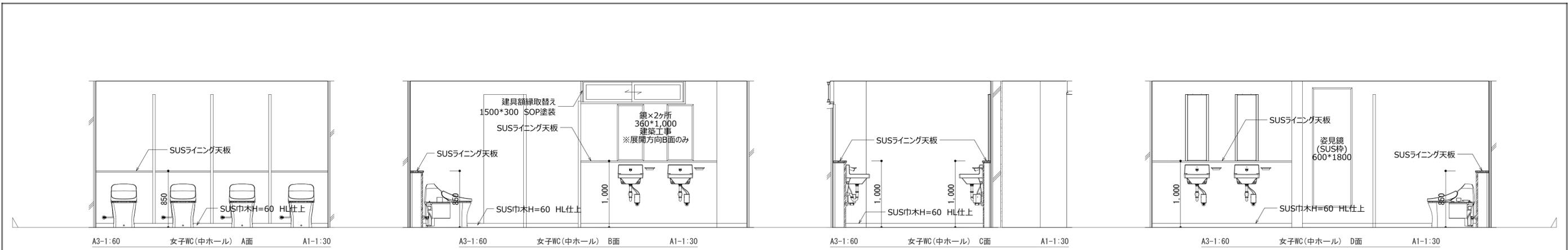
A3-1:60 多目的WC 2 B面 A1-1:30

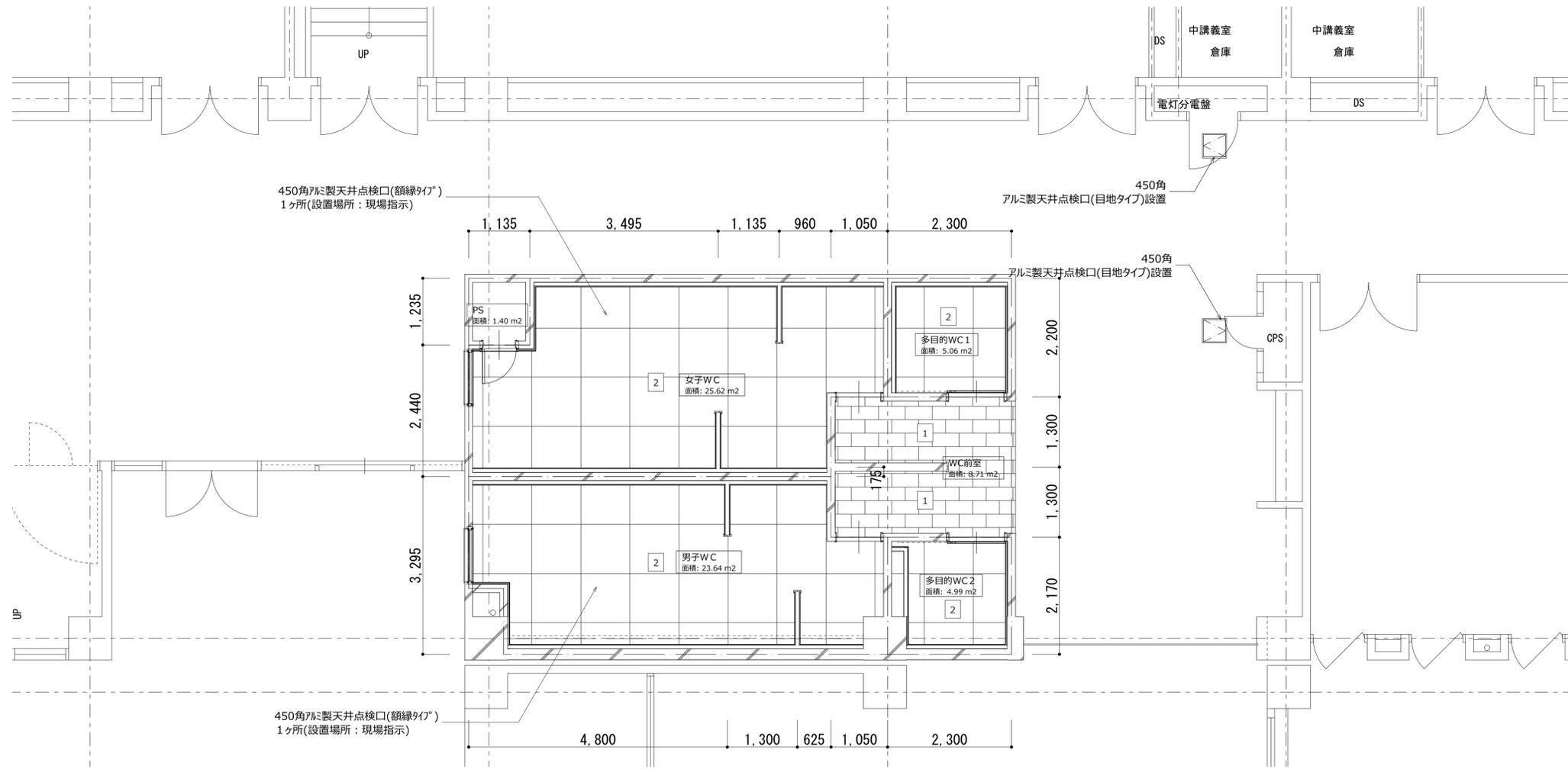


A3-1:60 多目的WC 2 C面 A1-1:30



A3-1:60 多目的WC 2 D面 A1-1:30





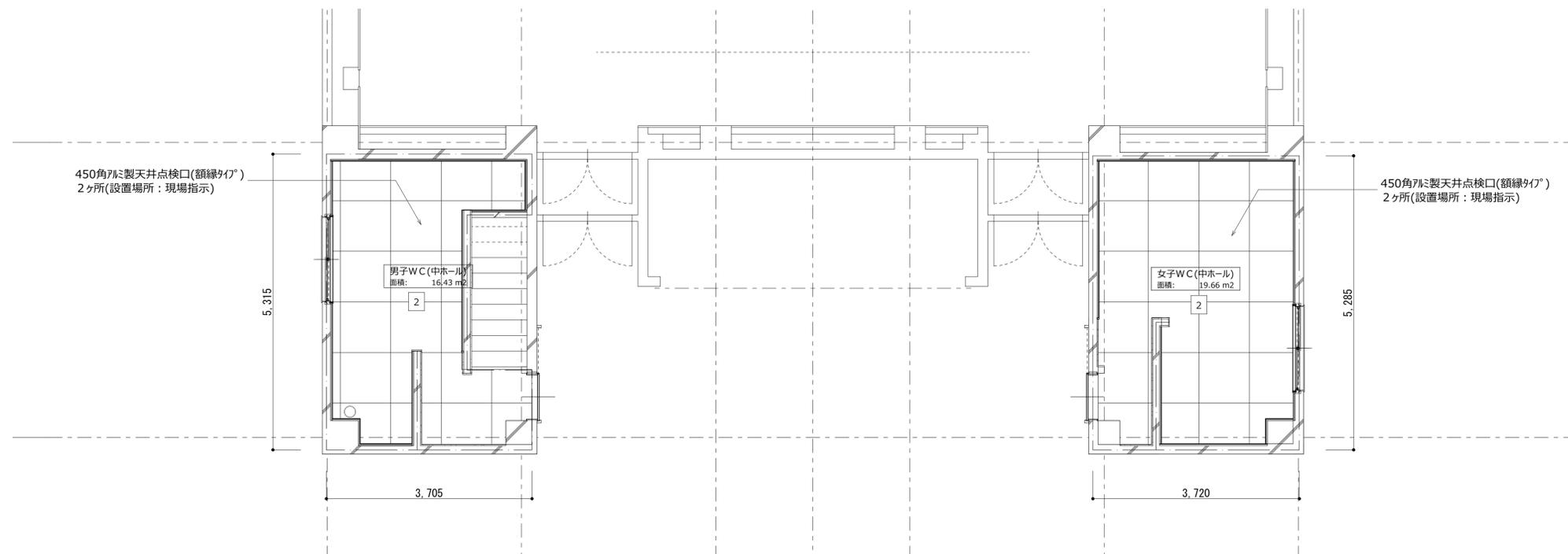
A3-1:100

講義棟 天井伏図

A1-1:50

天井仕上凡例	
1	LGS下地、t=9.5GB-R+t=12.0DR(リブ付)
2	LGS下地、t=6.0FK目透かし張りの上、EP塗装
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

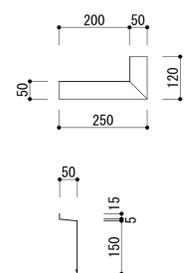
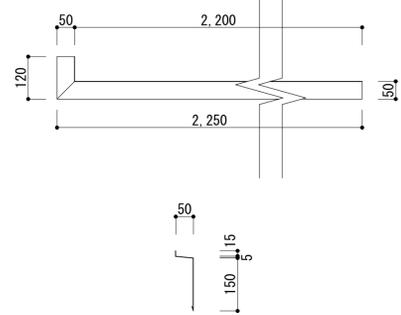
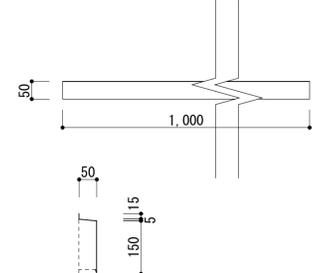
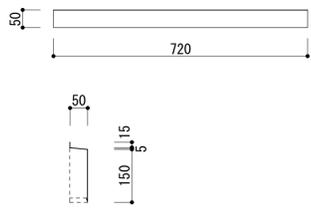
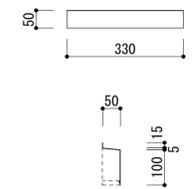
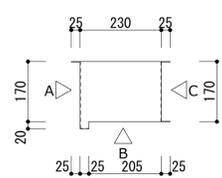
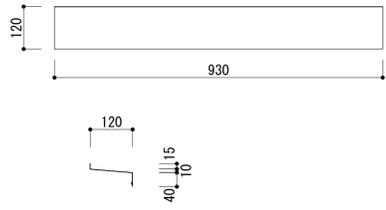
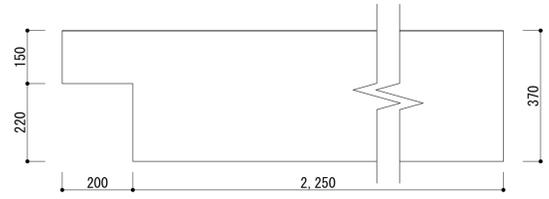
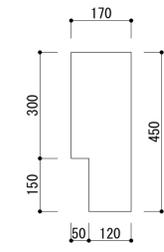
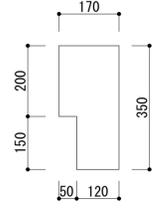
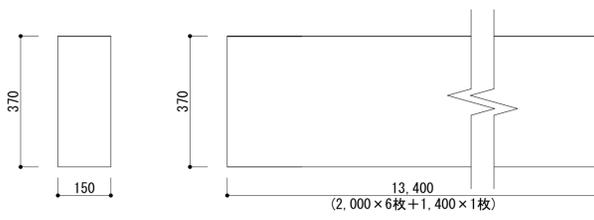
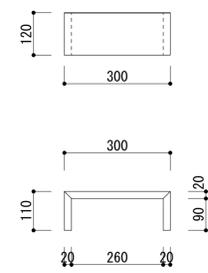
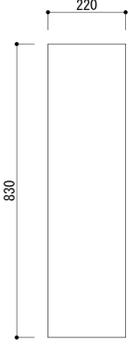
※WC内の天井点検口設置場所は現場指示とする



A3-1:100

中ホール 天井伏図

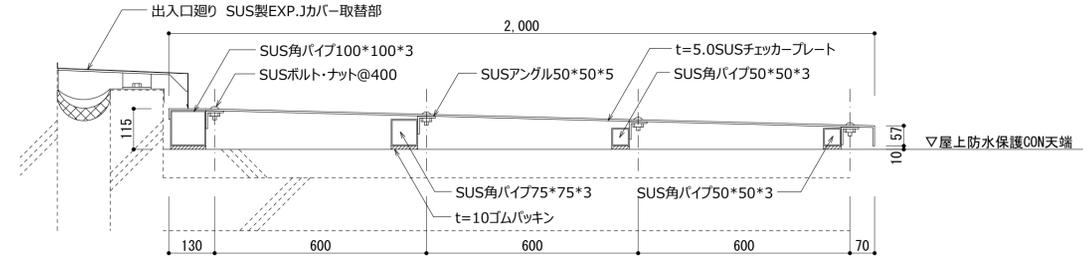
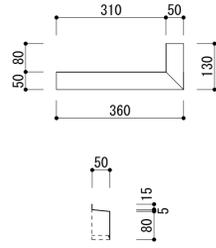
A1-1:50

<p>SUS製巾木(出入口廻り) 1 材厚t=1.0 設置数：1ヶ所</p> 	<p>SUS製巾木(出入口廻り) 2 材厚t=1.0 設置数：1ヶ所</p> 	<p>SUS製巾木(柱型) 1 材厚t=1.0 端部両側塞ぎ有り 設置数：3ヶ所</p> 	<p>SUS製巾木(柱型) 2 材厚t=1.0 端部片側塞ぎ有り 設置数：1ヶ所</p> 		
<p>SUS製巾木(立上取合い) 1 材厚t=1.0 端部両側塞ぎ有り 設置数：1ヶ所</p> 	<p>SUS製笠木(手摺躯体-外壁取合い) 1 材厚t=1.0 設置数：1ヶ所</p>  <p>矢視A姿図 矢視B姿図 矢視C姿図</p>	<p>SUS製沓摺(出入口廻り) 材厚t=1.5 設置数：1ヶ所</p> 			
<p>SUS製EXP.Jカバー-(壁-屋根 クリア150 1h耐火帯付き 出入口廻り) 材厚t=1.5 設置数：1ヶ所</p> 	<p>SUS製EXP.Jカバー-(立上り 1h耐火帯付き) 1 材厚t=1.0 設置数：1ヶ所</p> 	<p>SUS製EXP.Jカバー-(立上り 1h耐火帯付き) 2 材厚t=1.0 設置数：1ヶ所</p> 			
<p>SUS製EXP.Jカバー-(壁-屋根 クリア150 1h耐火帯付き 屋上緑化廻り) 材厚t=1.0 設置数：端部片側塞ぎ(W150) 1ヶ所、一般部13.4m</p> 	<p>SUS製笠木(手摺躯体-外壁取合い) 2 材厚t=1.0 設置数：1ヶ所</p> 	<p>SUS製EXP.Jカバー-(壁-壁外150 1h耐火帯付) 材厚t=1.0 設置数：1ヶ所</p> 			
<p>工事名称 熊本県立大学中ホールトイレその他改修工事</p>	<p>図面名称 雑詳細図 1</p>	<p>縮尺 A1-1:10 A3-1:20</p>	<p>株式会社 太宏設計事務所 一級建築士建設大臣登録第133907福島正継 熊本県知事登録第555号</p>	<p>校閲 日付 2019年8月5日</p>	<p>番号 A-18</p>

SUS製巾木(出入口廻り) 2 材厚t=1.0 端部両側塞ぎ有り 設置数：1ヶ所

SUS製スロープ(据え置き) W2,000×D2,000

設置数：1ヶ所



章	項目	特記事項	
4	1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする。	
	2 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による。	
	3 関連法規等	電気設備技術基準、同基準解釈、その他の関係法規及び電力会社、電気通信事業者（NTT等）の内規を厳守して完全に施工すること。	
	4 容量などの表示	(1) 機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は原則として表示された数値以上とする (2) 電動機出力は原則として表示された数値以下の電力とする	
	5 耐震施工	(1) 機器設備の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（独立行政法人建築研究所監修 2014年版）」による ① 設計用水平地震力 機器の重量 [kN] に、設計用標準水平地震を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震は、下表による。 ※地城係数 Z=1.0 としている 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平地震 (Ks) ※該当する施設に○をつけること	
	4	6 配管工事	(1) 特記なき電線管はねじなし電線管を使用し、PF管は一重管とすること。 (2) 一区間の延長が30mを超える場合及び施工に必要な場合は、特に指示しなくても中継ボックスを設けること (3) 予備配管には、1.6m/m以上のビニール被覆鉄線を入線すること
		7 構内及び構外舗装	構内では、路盤材料は再生クワッシュランを用い、アスファルト舗装は再生密度アスファルト混合物を利用すること 構外では、・表層路盤（※再生アスファルト・新70%再30%・再100%） ・基層路盤（※再生アスファルト・新70%再30%・再100%） ・上層路盤（※再生粒質砕石・再生クワッシュラン） ・下層路盤（※再生粒質砕石・再生クワッシュラン）を利用すること
		8 埋設テープ	全ての地中埋設配管には、GL-300の位置にビニール製埋設テープ（ダブル）を敷設し、高圧、低圧及び弱電等の種別及び行先を表示すること
		9 屋外の支持金物等	(1) 屋外の支持金物、ボルト及びナット類は、溶融亜鉛めっき仕上げ（HDZ35以上）又はステンレス製とする (2) ナットの固定には、ダブルナット又は抜け止め対策を行う
		10 配管塗装	(1) 指定箇所の露出配管、露出ボックス類の塗装は、エッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて、OP2回塗りとする (2) 指定場所の露出ボックスは指定色焼付塗装とする (3) 電気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること (4) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛めっき仕上げではJIS H 8641で規定するHDZ35以上とすること (5) 仮付貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと
		11 環境に配慮した電線採用	特記なき場合は電線及びケーブルについて、EM（エマテリアル）ケーブルを使用すること 対応する記号及び規格名称
		12 配分電盤及び操作盤	(1) 配分電盤及び操作盤（以下、盤という）は、監督員の指定する色（既製品を除く）にて焼付塗装すること (2) 電灯分電盤については中枠及び別戸式内扉を設けるものとし、盤内配線の主幹と分岐開閉器間は銅帯とする。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない (3) 盤には、二重天井の場合、監督員の指示する大きさの予備配管を2本以上天井内まで立上げ、エンドカバー又はブッシングを設けること (4) 銘板には製造者及び責任者の連絡先を入れること (5) 積算電力計について、特記なき場合は検定付とすること (6) ドア裏面の充電部が露出する部分は原則感電防止の処置を施すこと (7) 屋内設置の外面膜厚は、（・30μm以上・40μm以上・90μm以上）とする 屋外設置の外面膜厚は、（・60μm以上・90μm以上・120μm以上）とする
		13 端子盤及び保安器箱	塗装及び予備配管は、「特記事項12の配分電盤及び操作盤」と同様とする
		14 ボックス等	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、金属製とする
		15 配線器具等	(1) フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする (2) 公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付きとする (3) 特記無きスイッチはワイドスイッチとする

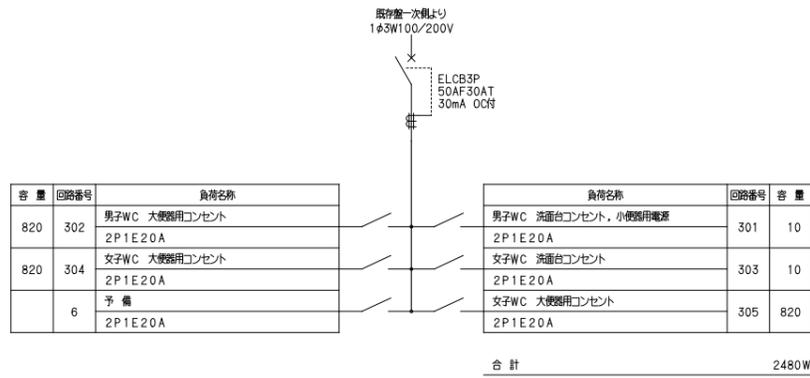
16 幹線ケーブル	主要な幹線ケーブルは、プルボックス、ハンドホール等内で、円直し等により余長を確保すること なお、この際はケーブルを緊縛してはならない
17 表示等	(1) プレートの表示 器具をINSTALLしないものについては、下記の要領で用途を明示すること （電灯、動力、電話、放送、TV、火報、ベル、インターホン、表示、時計、防犯、監視、LAN、呼出等） (2) 幹線の表示 強電、弱電の幹線引出口、引出口、プルボックス内及びハンドホール内の必要な箇所には、先行、回路種別及びケーブルサイズ等を明示した表示札、プレート等を設けること (3) プルボックス及びハンドホールの表示 プルボックスの表面に用途表示を行うこと ハンドホールの蓋には熊本県章を表示し、用途別に「高圧」「電気」「弱電」「電話」等と表示すること。
18 接地工事	(1) 接地埋設は黄銅板製の刻印式とし、A種接地工事（往上高圧機器を除く）、受電設備等のB種接地工事、その他図面に特記する接地工事に設けること (2) 接地極の材料は、下表による。（枚数及び本数は最低の値とする。）
19 照明器具の接地	LED照明器具の金属製部分には、D種接地工事を施すこと ただし、二重絶縁構造のもの、使用電圧が直流300V以下又は対地電圧が交流150V以下のLED照明器具を乾燥した場所に施工する場合は、接地工事を省略することができる 接地線は原則として緑色のIE 1.6mm以上とし金属配管の場合は配管を利用してもよい
20 避雷器	・低圧用SPDの性能は（・クラスI（性能は図示による）・クラスII）とする ・通信用SPDの性能は（・C2・D1（性能は図示による）・図示による）とする
21 LED制御装置	図面に特記なき場合は、一般形(LN)、初期黒度補正形(LJ)、連続調光形(LX)とすること
22 外灯設備	(1) 溶融亜鉛めっき鋼管ポールは、エッチングプライマー処理の後、指定色2回塗りとする (2) ポール内等に配線用遮断器（引外し装置無）又はカットアウトスイッチ（兼通ヒューズ）を設けること
23 照度測定	測定箇所 ○学校環境衛生基準による。 ・監督員の指示による。
24 キュービクル型受電設備	(1) 変圧器の2次側には最大需要電流計（電子式）を設けること (2) 変圧器の2次側と配線用遮断器の1次側間は銅帯とすること (3) 幹線と配線用遮断器を接続するための端子台を設けること (4) 充電部の保護として、取っ手を付けたアクリルパネルを隙間なく設けること (5) 変圧器は原則として、熊本県グリーン購入推進方針適合品とする (6) 高圧充電部の近くには高圧危険表示をすること (7) 変圧器の仕様は（・標準仕様・標準準仕様）とする (8) 変圧器は防振ゴム付きとする (9) 屋内設置の外面膜厚は、（・30μm以上・40μm以上・90μm以上）とする 屋外設置の外面膜厚は、（・60μm以上・90μm以上・120μm以上）とする
25 通信・情報設備	ケーブルは監督員の指定する色を用い、露出部分（端接続部分を除く）を保護すること UTPケーブルを除き、配線完了後、絶縁抵抗試験を行うこと UTPケーブルは、配線完了後、フロア配線盤から通信ケーブルの間に、伝送品質測定を行うこと 光ファイバケーブルは、配線完了後、伝送損失測定を行い、システムを構成する機器の許容伝送損失値以下であること
26 インターホン設備	卓上型機器への接続は、原則としてコネクタによる。 また、ケーブルはインターホン用絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブルを用いること
27 音響設備	音響装置は動作試験の他に次の測定を行うこと ・インピーダンス ・残響時間 ・伝送周波数特性 ・音圧分布
28 テレビ共同受信設備	(1) アンテナは図面に特記なき場合は、UHfアンテナで全帯域用（素子数 20以上）とする (2) 増幅器は図面に特記なき場合は、UHf帯とする (3) 建築躯体工事完了後、地上放送周波数の電界強度測定を行い、監督員に報告すること
29 電気時計設備	時計の配線接続には2極コネクタを用いること
30 消火ポンプ起動	特記なき場合は、発信機連動方式とする。 その場合、発信機表面に「消火栓連動」等の文字を併記すること
31 壁貫通	構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋探索を行う。 ・レントゲン撮影 ○金属探知機
32 あと施工アンカー	○あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること ○施工者資格（○第1種あと施工アンカー施工士 ・ 第2種あと施工アンカー施工士） ※試験 ※自主検査（全数） ・加力検査（・非破壊試験 〆か所 ・破壊試験 〆か所）
33 改修工事	改修工事にあたっては、工事範囲における次の確認、測定等を着工前に、監督員に報告すること ○既設機器の動作確認 ○照度測定 範囲（※居室 ※教室 ・指定する場所（ 〆 ）） ○絶縁測定（○幹線 ○分岐回路 ・弱電ケーブル） ・接地抵抗測定 ・導通試験
34 発生材の処理等	・水銀含有物（蛍光灯管、水銀ランプ）の処理は次のとおり行うこと。 (1) 破砕施設にて破砕し、破砕したガラス、ガラスに塗布された蛍光塗料、蛍光管等に封入された水銀その他資源化可能なものを分離し、回収することができる設備を有する廃棄物処理業者と契約すること。 (2) 工事請負者は廃棄物処理業者との処理委託契約書の写しを提出すること。 (3) 廃棄物処理業者は回収した資源化可能なものは、可能な限りリサイクルするものとする。 (4) 蛍光管等を破砕する際には、封入されたガス状水銀及び金属水銀が環境中に飛散しないよう、破砕施設に吸引装置を設けガス状水銀等を吸引すること。また、吸引したガス状水銀等は活性炭等に吸着させ環境中に放出しないようにすること。なお、この方法によらない場合は、この方法と同等または同等以上の方法で処理を行うこと。 (5) 再資源化に関しては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日法律第137号）」及び関係法令を遵守すること。 (6) 廃蛍光管等の保管・収集運搬容器については、保管及び運搬中に蛍光管が割れガス状水銀等が環境中に飛散しないよう適切なものを使用すること。

名 称	測 点	取付高 (mm)	
取引用計器	地上 ~ 中心	約 1,800 ~ 約 2,000	
引込開閉器	床上 ~ 中心	約 1,800 ~ 約 2,200	
分電盤	床上 ~ 中心	約 1,500 ~ 約 2,100	
ブラケット	洗面器	鏡上	
	階段踊場	床上 ~ 中心	約 2,000 ~ 約 2,500
	屋外	床上 ~ 中心	約 1,500
スイッチ	一般	床上 ~ 中心	~ 約 1,100
	住宅	床上 ~ 中心	約 1,100
コンセント	一般	床上 ~ 中心	約 400 ~
	台上	台上 ~ 中心	約 200
	土間	床上 ~ 中心	約 800
	畳	床上 ~ 中心	約 400
	手元開閉器	床上 ~ 中心	約 1,500
壁掛型削脚盤	床上 ~ 中心	約 1,500	
消火栓表示灯	床上 ~ 中心	約 2,000 ~ 2,500	
端子盤	床上 ~ 下端	約 700 ~	
保安器ボックス	床上 ~ 下端	約 2,000	
電話位置ボックス、テレビ端子	コンセントに挿入		
受信機、副受信機（壁掛型）	床上 ~ 操作部	約 800 ~ 1,400	
分布型感知器	床上 ~ 中心	約 1,700	
発信機	床上 ~ 操作部	約 800 ~ 1,400	
表示灯	床上 ~ 中心	約 1,900	
ベル	床上 ~ 中心	約 2,300	
感知器試験機	床上 ~ 中心	約 1,500	
呼出プザー	床上 ~ 中心	約 1,500	
トイレ呼出ボタン	床上 ~ 中心	約 400、800	
押ボタン	屋外	床上 ~ 中心	約 1,500
	屋内	床上 ~ 中心	約 1,900
インターホン（壁掛）	床上 ~ 中心	約 1,100	
時計	床上 ~ 中心	約 2,300	
警報盤	床上 ~ 中心	約 1,900	
壁掛音量調節器	床上 ~ 中心	約 1,100	
スピーカー	床上 ~ 中心	約 2,300	
表示器	床上 ~ 中心	約 2,300	

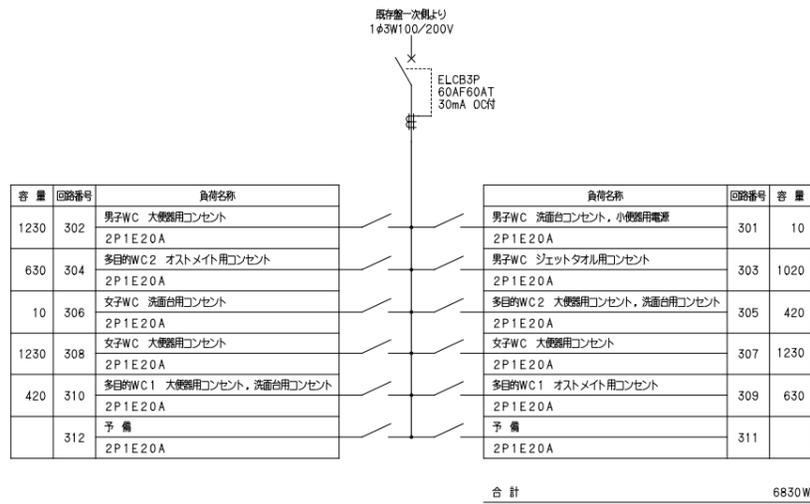
機器の基礎	電 気 関 係	配電盤・制御盤の基礎	電 工 事		機械設備工事	別途工事
			屋内	屋外		
機器の基礎	電 気 関 係	配電盤・制御盤の基礎	自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）	○		
			テレビアンテナ基礎（ # ）	○		
			避雷針の基礎（ # ）	○		
			屋内設備（梁台、アンカーボルトを除く）	○		
			屋上設備（ # ）	○		
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	屋上設備（ # ）		○	
			屋外設備（ # ）		○	
			梁台、アンカーボルト		○	
			特記した基礎		○	
			梁、床、壁、貫通スリーブ	○		
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	梁、床、壁、貫通部型枠		○	
			軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	○		
			埋込形分電盤、端子盤等の型枠	○		
			上取開口部の補強	●		
			上取開口部の露出し	○		
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）	●		
			フリースペース用配線器具	○		
			床、壁、天井	●		
			ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	○		
			換気扇の取付	○		
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	排水トラップ共	○		
			オイルサーピスタンの防油堤		○	
			タンク基礎		○	
			床下水槽のマンホールふた		○	
			雨水		○	
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	汚水、雑排水		○	
			雨水立管（たてどい）		○	
			トイレ手すり		○	
			化粧かぎ		○	
			はめ込形洗面器用カウンター（前板共）		○	
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	ガスボンベ転倒防止用の鎖		○	
			自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配線配線及び操作スイッチ		○	
			防火扉レリーズ		○	
			電線導		○	
			配線ピット及びふた	○		
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	機器などへの接続（1次側）		○	
			機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管（接地共）		○	
			機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○	
			自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線		○	
			自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線		○	
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	天井吊り形FCU、個別パッケージ、付属操作スイッチとの渡り配線		○	
			全機交換ユニット等の機器		○	
			個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線（接地共）		○	
			煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		○	
			小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線		○	
開口部	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	電気能及び通電金具		○	
			TENキー及び削脚盤		○	
			エレベーター出入口三方枠（金属製）		○	
			エレベーター出入口三方枠（石製）		○	
			シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン		○	
システム天井	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	ボード・Tバー		○	
			照明ライン設備プレート		○	
システム天井	機 械 関 係	配電盤・制御盤の基礎	空調ライン設備プレート		○	

別表-1の記入上の注意 該当箇所は ●（黒塗り）とし該当しない工事内容及び区分欄は斜線消去すること  
別表-1 他工事との工事区分表

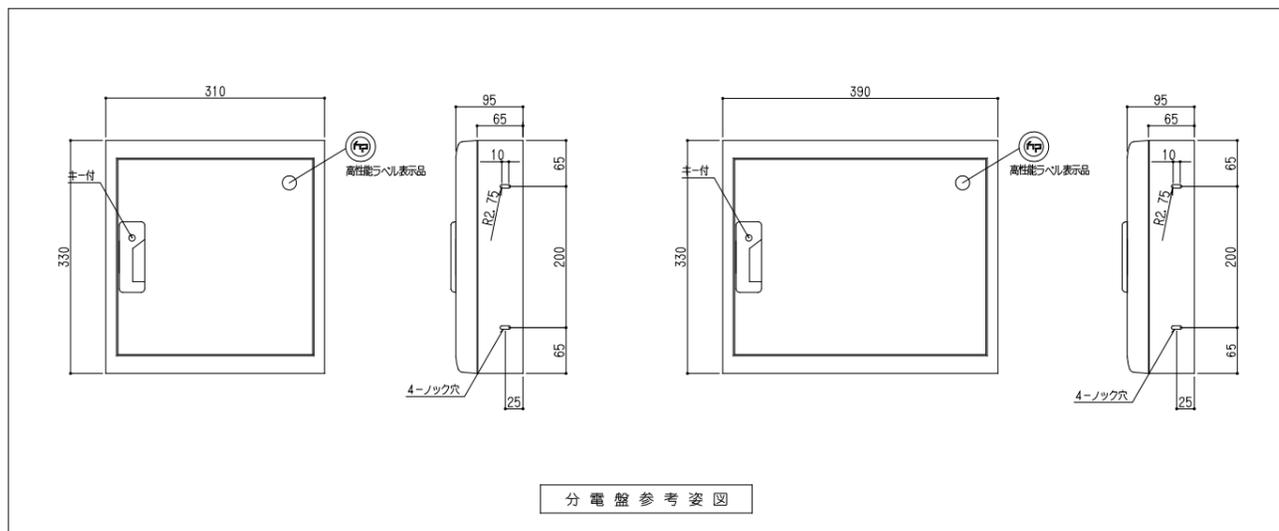
建築改修工事特記仕様書	公立大学法人 熊本県立大学	建築士事務所名	一級 建築士事務所 熊本県 知事登録 555 号	工 事 名 称	熊本県立大学中ホールトイレその他改修工事	
		設計者氏名	一級 建築士 建設大臣 登録第 133907 号	図 面 名 称	電気設備工事特記仕様書(その1)	図面番号 E-01



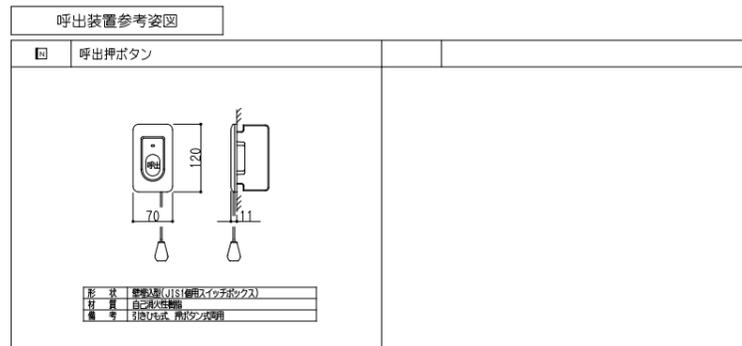
中ホールトイレ 電灯分電盤結線図  
鋼板製・市販品・壁掛型



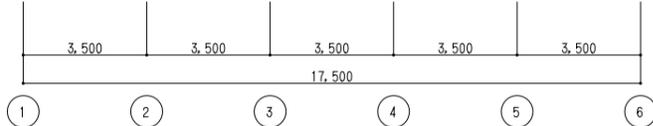
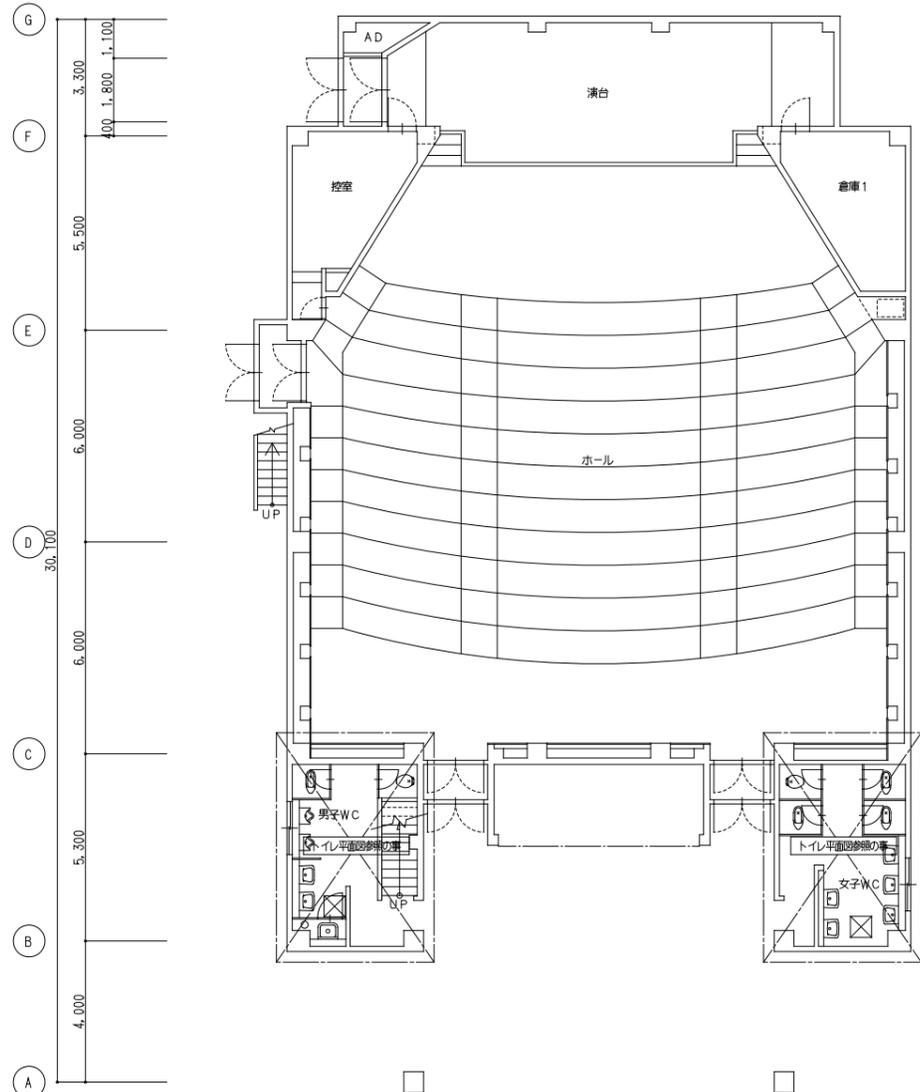
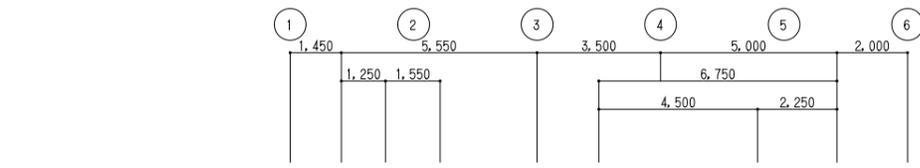
講義棟トイレ 電灯分電盤結線図  
鋼板製・市販品・壁掛型



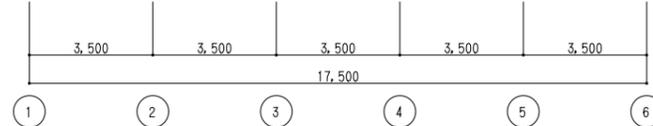
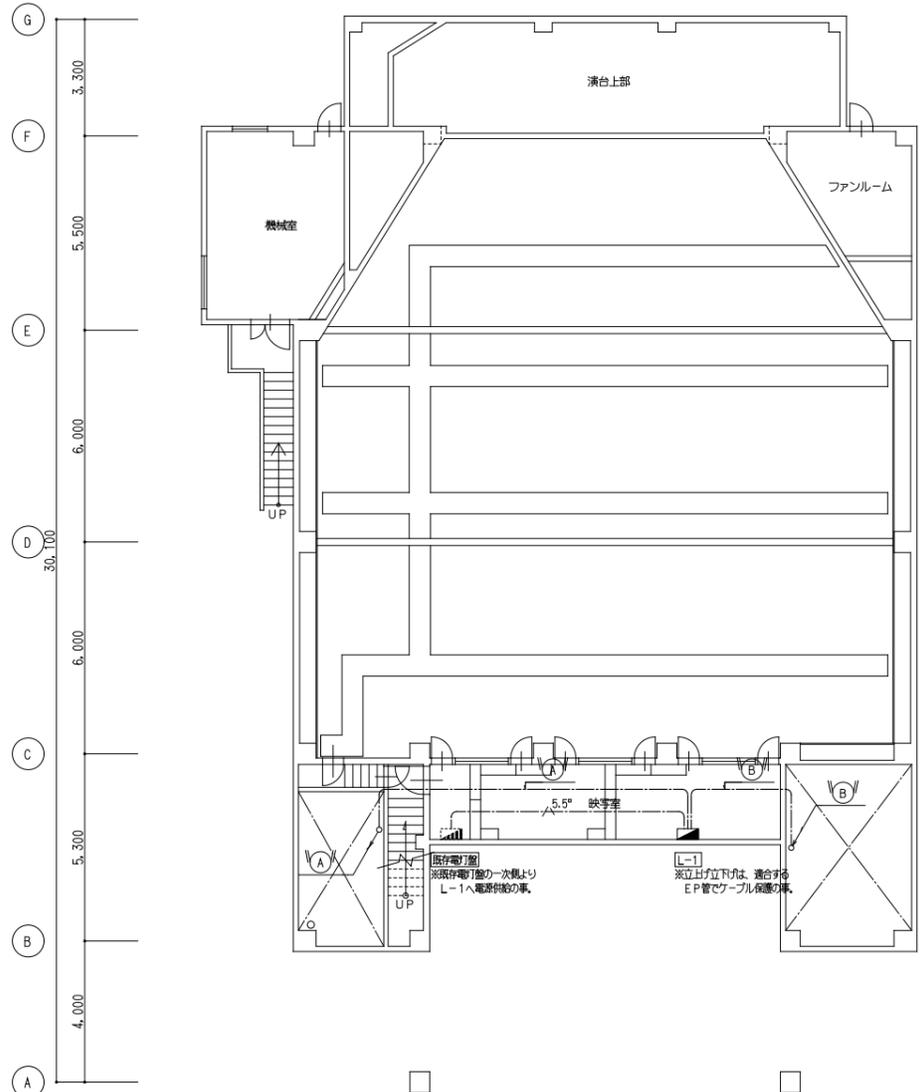
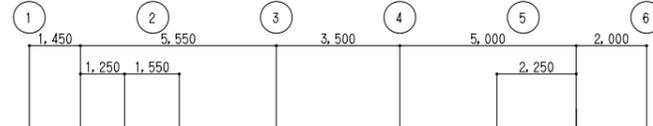
照明器具姿図	
<p>公共型番: LRS1-05</p> <p>器具光束625lm, 消費電力: 4.6W LEDクワコア(ひと粒)タイプ, 電線ユニット内蔵 一般タイプ 5000K, Ra85, 防塵タイプ 光束照射角15度, 電圧100-242V 光束平均4000lm(光束維持率95%) 反射板(上部): プラスチック(ホワイト) 反射板(下部): 鋼板(ホワイトつや消し, 上) 枠: 鋼板(ホワイトつや消し, 上), 径36φ100</p> <p>DL1 LEDダウンライト 60形</p>	<p>公共型番: LRS1-08</p> <p>器具光束1065lm, 消費電力: 7.6W LEDクワコア(ひと粒)タイプ, 電線ユニット内蔵 一般タイプ 5000K, Ra85, 防塵タイプ 光束照射角15度, 電圧100-242V 光束平均4000lm(光束維持率95%) 反射板(上部): プラスチック(ホワイト) 反射板(下部): 鋼板(ホワイトつや消し, 上) 枠: 鋼板(ホワイトつや消し, 上), 径36φ150</p> <p>DL2 LEDダウンライト 100形</p>
<p>公共型番: LDS2-LRS1-08</p> <p>器具光束440lm, 消費電力: 5W 銀白色(5000K), Ra83 電圧100V 器具タイプ: 高気密58形 枠: アルミダイカスト(ホワイトつや消し) 光束照射角30度 径36φ100</p> <p>DL3 LEDユニバーサルダウンライト 60形</p>	<p>公共型番: LDS2-LRS1-08</p> <p>器具光束1015lm, 消費電力: 7.4W LED内蔵クワコア(ひと粒)タイプ, 電線ユニット内蔵 一般照射タイプ ひと(熱線)センサー付, 5000K, Ra85, 防塵タイプ 光束平均4000lm(光束維持率95%) 反射板(上部): プラスチック(ホワイト) 枠: 反射板(下部): アルミダイカスト(ホワイトつや消し, 上) 径36φ150</p> <p>DL4 LEDダウンライト 100形</p>



EM-EEF2.0-3C (ころがし)	男子WC自動水栓	(301)	A
EM-EEF2.0-3C (ころがし)	男子WC便座コンセント(1)(2)	(302)	
EM-EEF2.0-3C (ころがし)	女子WC自動水栓	(303)	B
EM-EEF2.0-3C (ころがし)	女子WC便座コンセント(1)(2)	(304)	
EM-EEF2.0-3C (ころがし)	女子WC便座コンセント(3)(4)	(305)	



1階平面図 1:100

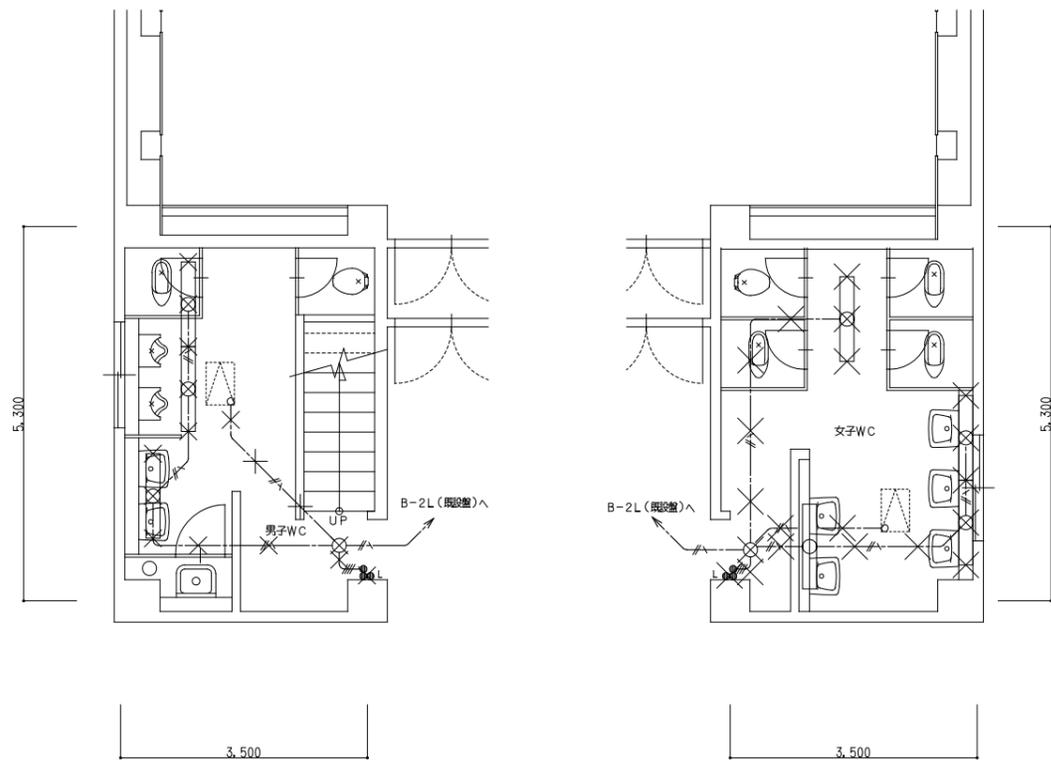


2階平面図 1:100

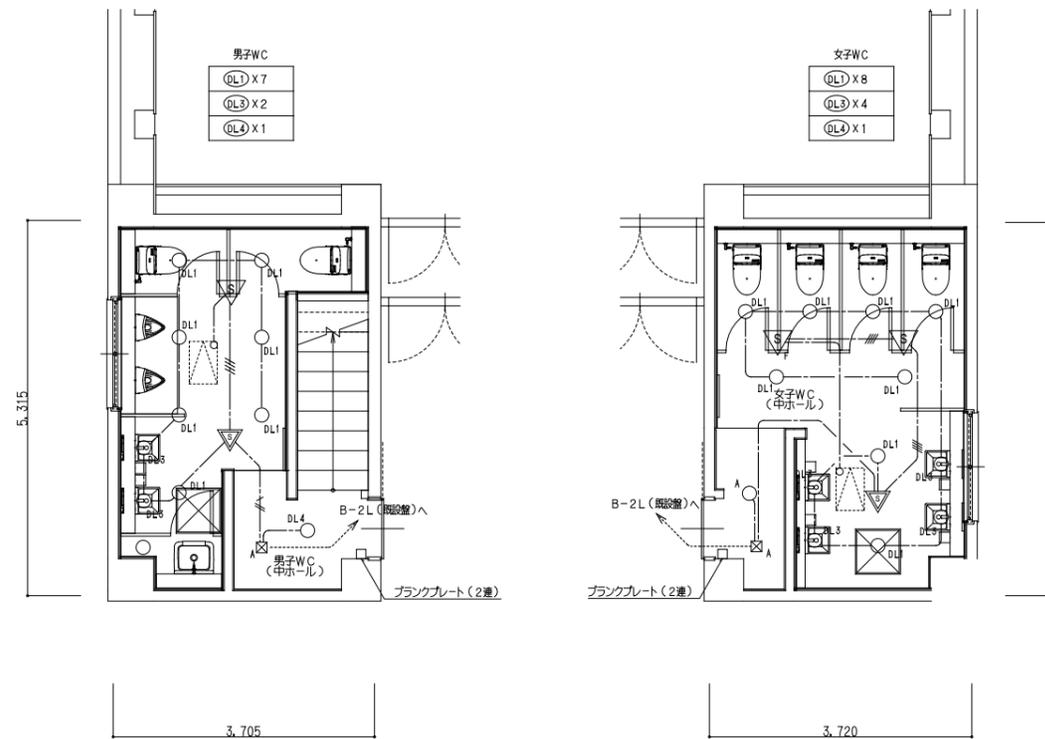
注記  
 種別記号配線・配管は下記による。  
 5.5° EM-CE5.5°-4C (ころがし)

撤去機器リスト

室名	機器名称	図記号	仕様・形状	数量	備考
男子WC	照明器具	○	埋込下照筒灯 FL40W-2	2	再使用しない
	照明器具	○	埋込下照筒灯 FL40W-2, コンフォート	1	再使用しない
	照明器具	○	ダウンライト	1	再使用しない
	埋込スイッチ	■L	1P15AX2, 1P15ALX1, 金属プレート	1	再使用しない
女子WC	照明器具	○	埋込下照筒灯 FL40W-2	1	再使用しない
	照明器具	○	埋込下照筒灯 FL40W-2, コンフォート	3	再使用しない
	照明器具	○	ダウンライト	1	再使用しない
	埋込スイッチ	■L	1P15AX2, 1P15ALX1, 金属プレート	1	再使用しない



中ホール 改修前トイレ平面図 1:50

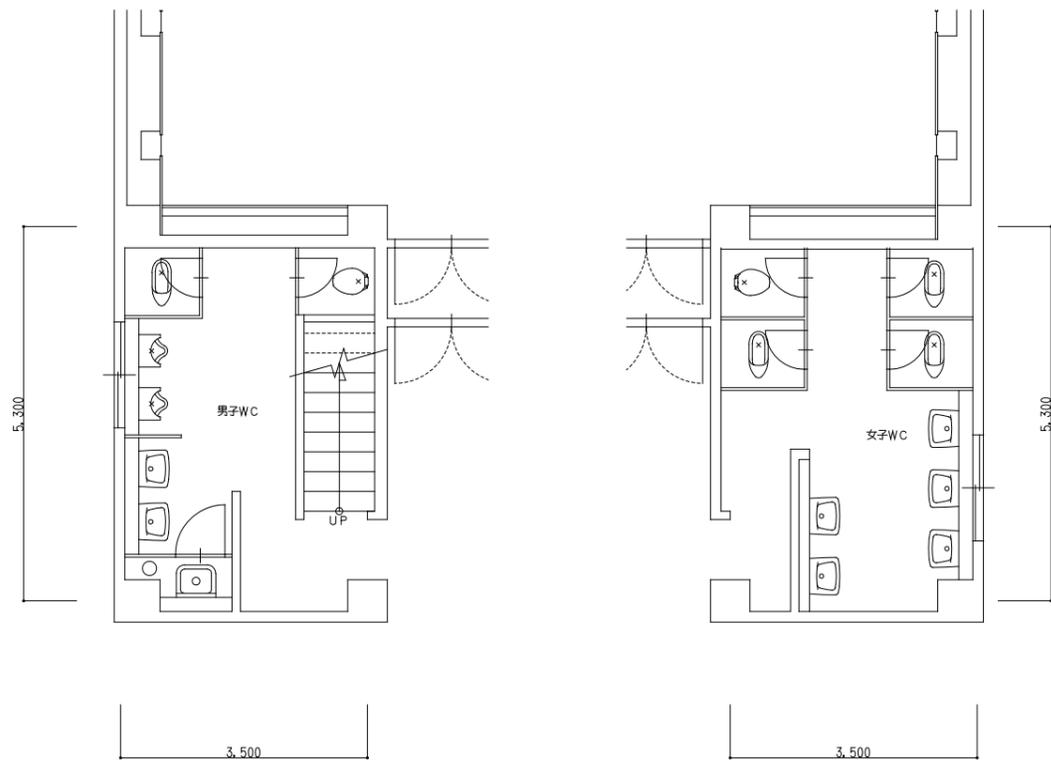


中ホール 改修後トイレ平面図 1:50

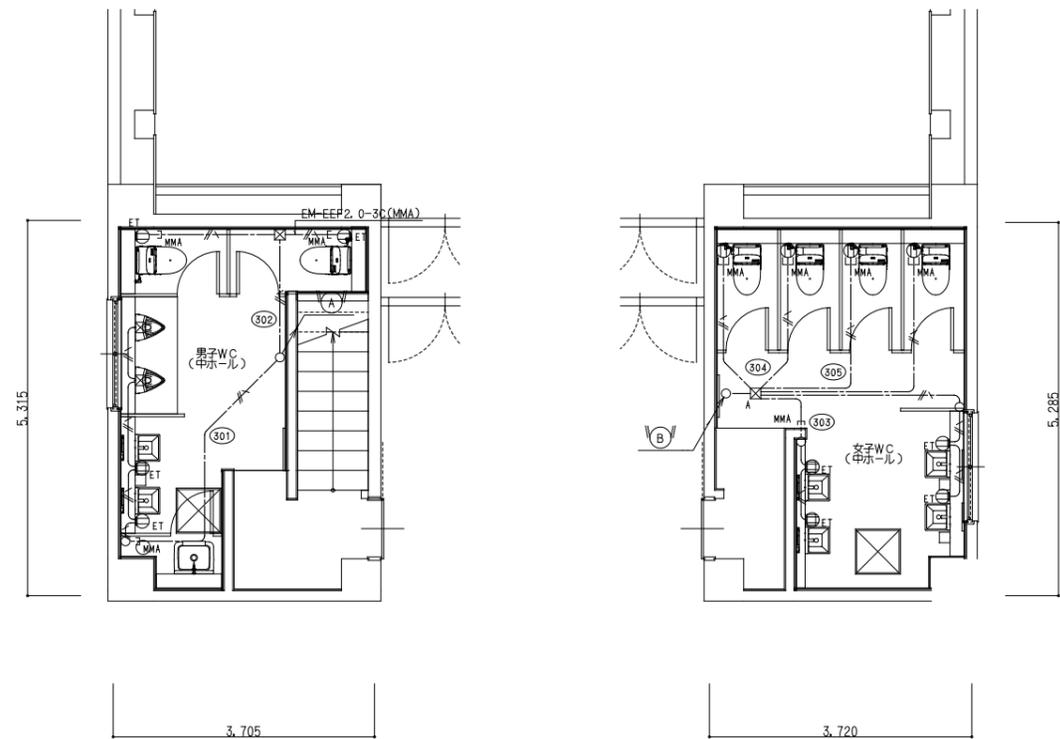
注記)  
 特記なき配線・配管は下記による。  
 - - - VVF2. 0-3C (ころがし)  
 - - - VVF2. 0-2CX2 (ころがし)  
 ・図中×××表示部分は撤去範囲を示す。

凡例)  
 □ ブルボックス SS200X200X200  
 △ 人感センサー 親機  
 ▽ 人感センサー 子機  
 ▽ F 人感センサー 検知距離調整機

注記)  
 特記なき配線・配管は下記による。  
 - - - EM-EEF2. 0-2C (ころがし)  
 - - - EM-EEF2. 0-2CX2 (ころがし)  
 ..... 施設を示す



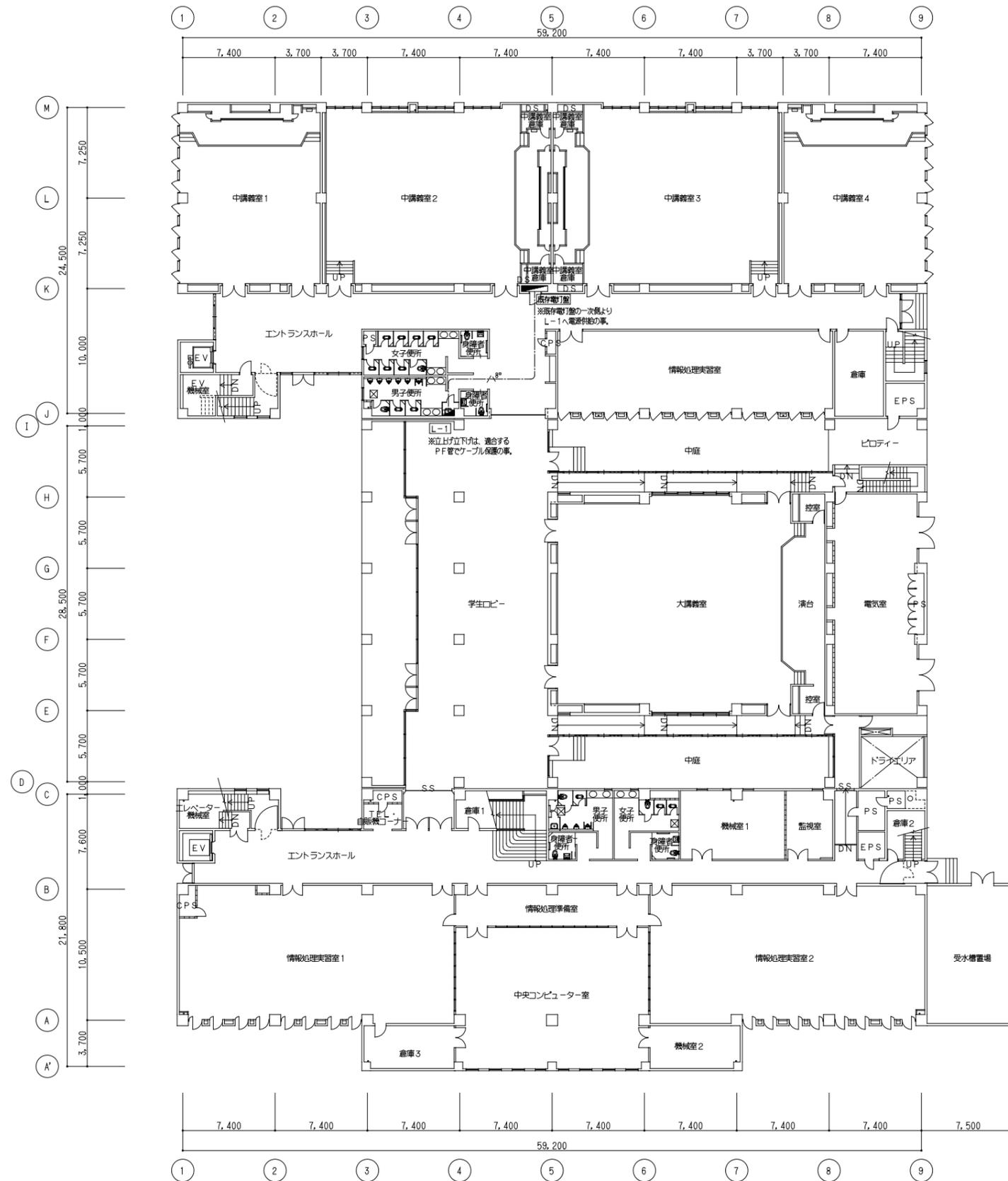
中ホール 改修前トイレ平面図 1:50



中ホール 改修後トイレ平面図 1:50

EM-EEF2. 0-3C (ころがし) 男子WC自動水栓	(301)	A
EM-EEF2. 0-3C (ころがし) 男子WC便座コンセント (1) (2)	(302)	
EM-EEF2. 0-3C (ころがし) 女子WC自動水栓	(303)	B
EM-EEF2. 0-3C (ころがし) 女子WC便座コンセント (1) (2)	(304)	
EM-EEF2. 0-3C (ころがし) 女子WC便座コンセント (3) (4)	(305)	

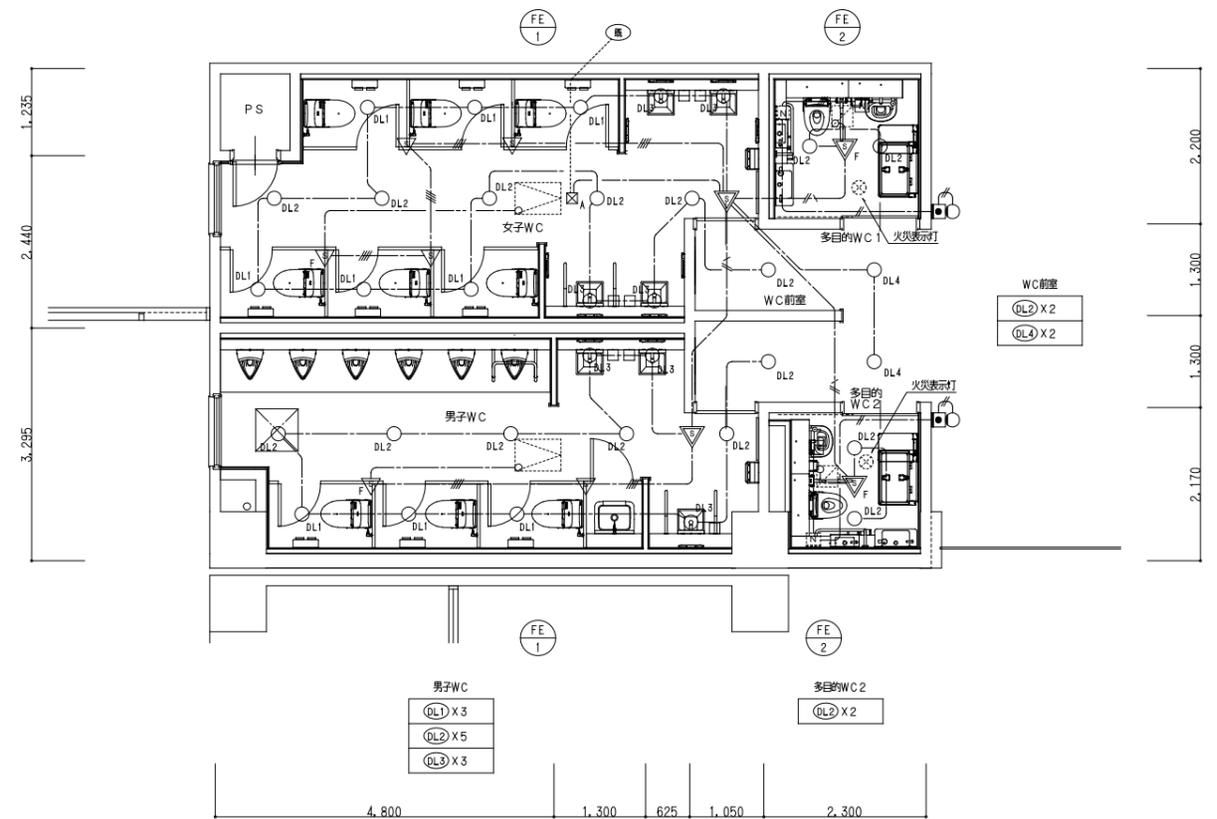
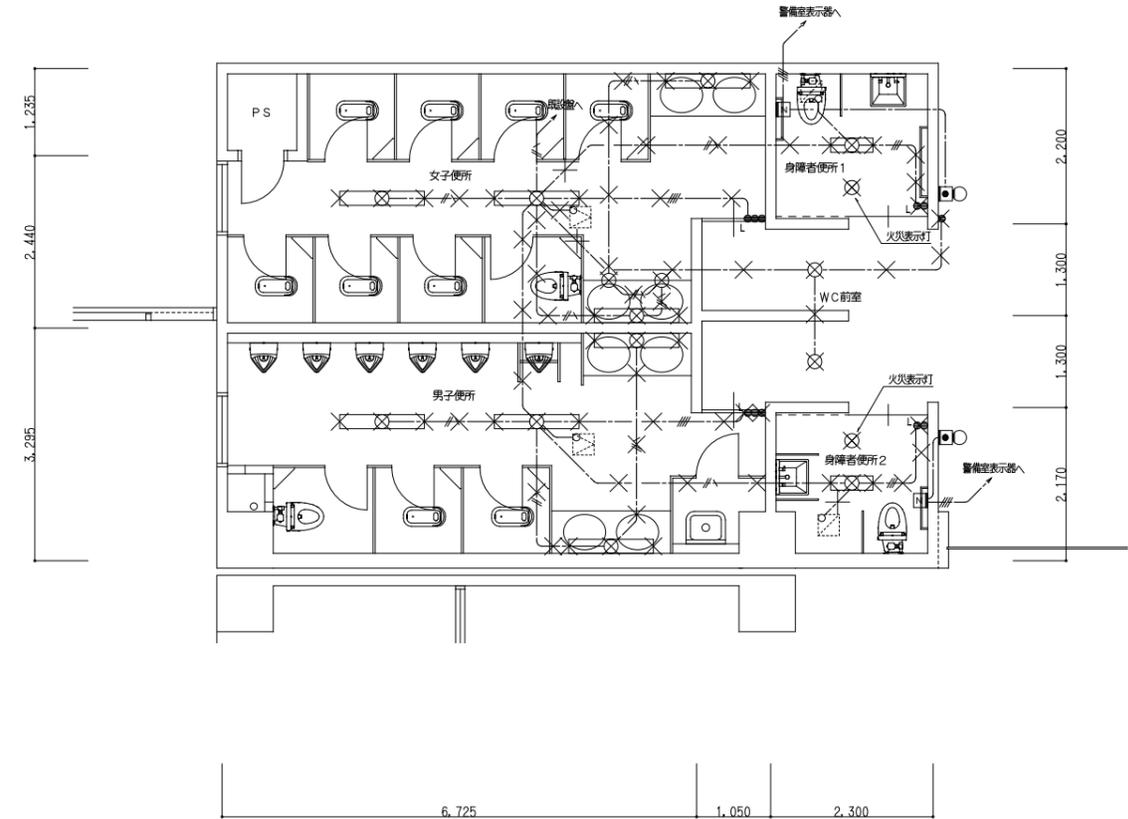
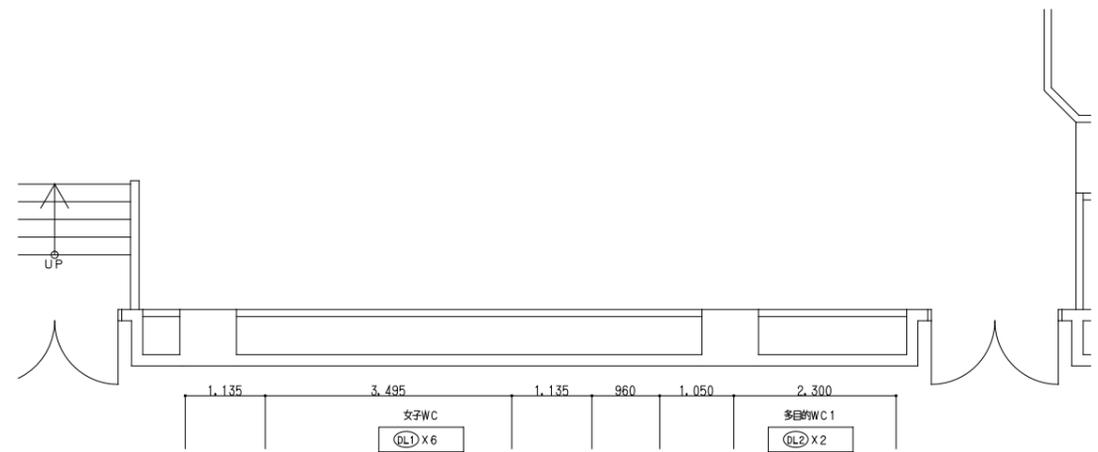
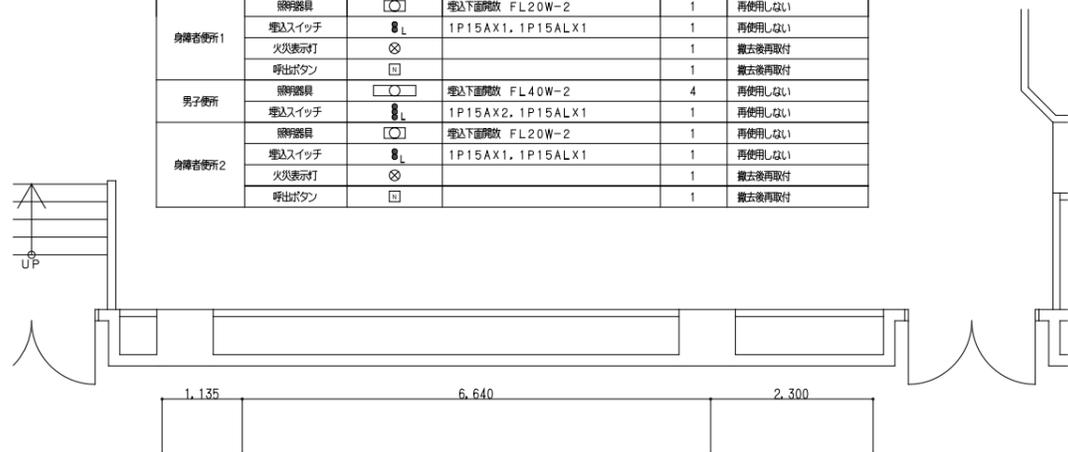
- 凡例)
- MMA 1種金属線/A型(コーナーボックスも見込む事)
  - A プルボックス SS200X200X200
  - アウトレットボックス
  - ⊖ ET 壁込コンセント 2P15A1 ET付
- 注記)
- 特記なき配線・配管は下記による。
- EM-EEF2. 0-3C (ころがし)
  - EM-EEF2. 0-3C (PF22)



平面図 1:200

注記)  
 欄のなかに配線・配管は下記による。  
 〃〃〃〃 EM-CE8<sup>®</sup>-3C, E, 5.5<sup>°</sup> (こるがし)

撤去機器リスト					
室名	機器名称	図記号	仕様・形状	数量	備考
女子便所	照明器具	□○	埋込下面開放 FL40W-2	4	再使用しない
	照明器具	○	ペンダントライト	2	再使用しない
	照明器具	○	ダウンライト	2	再使用しない
	埋込スイッチ	●	1P15AX1	1	再使用しない
身障者便所1	埋込スイッチ	●	1P15AX2, 1P15ALX1	1	再使用しない
	照明器具	□○	埋込下面開放 FL20W-2	1	再使用しない
	埋込スイッチ	●	1P15AX1, 1P15ALX1	1	再使用しない
	火災表示灯	⊗		1	撤去後再取付
男子便所	照明器具	□○	埋込下面開放 FL40W-2	4	再使用しない
	埋込スイッチ	●	1P15AX2, 1P15ALX1	1	再使用しない
	照明器具	□○	埋込下面開放 FL20W-2	1	再使用しない
	埋込スイッチ	●	1P15AX1, 1P15ALX1	1	再使用しない
身障者便所2	火災表示灯	⊗		1	撤去後再取付
	呼出ボタン	□		1	撤去後再取付



講義棟2号館 改修前トイレ平面図 1:50

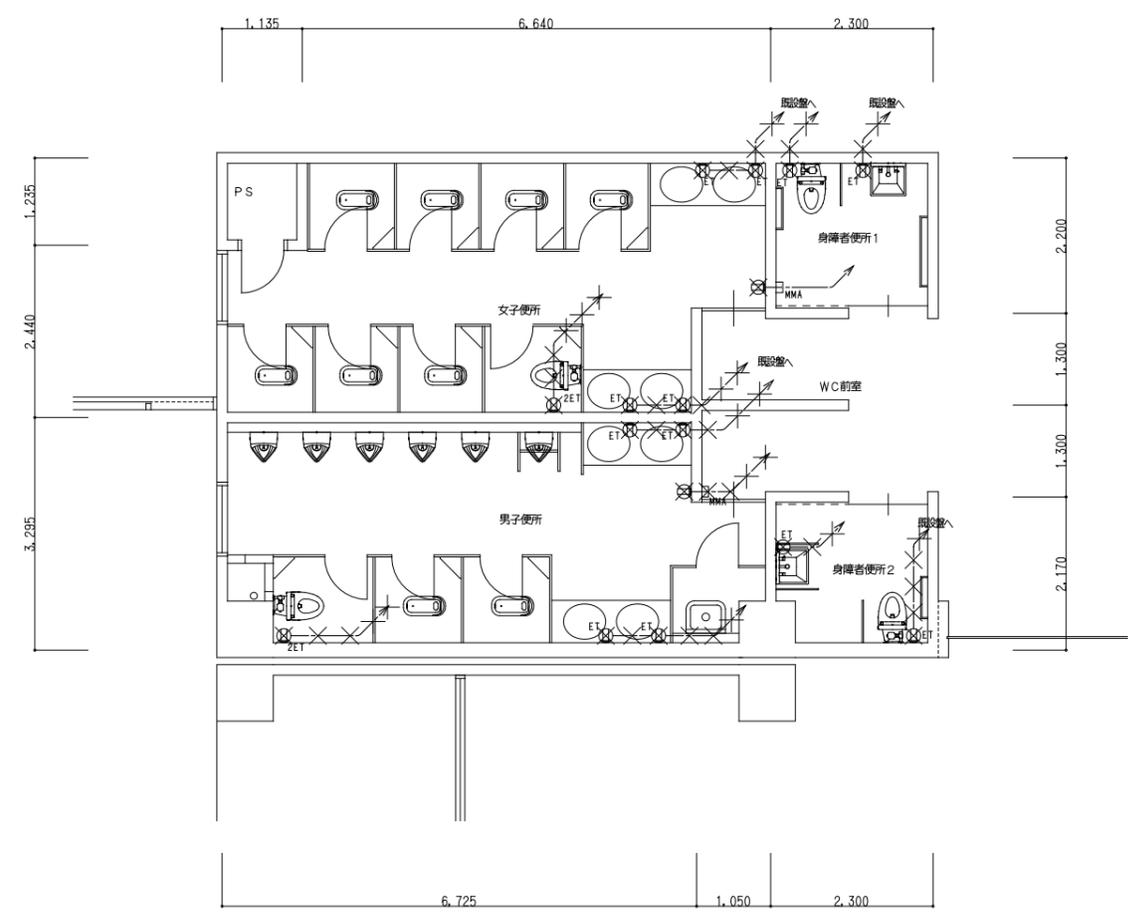
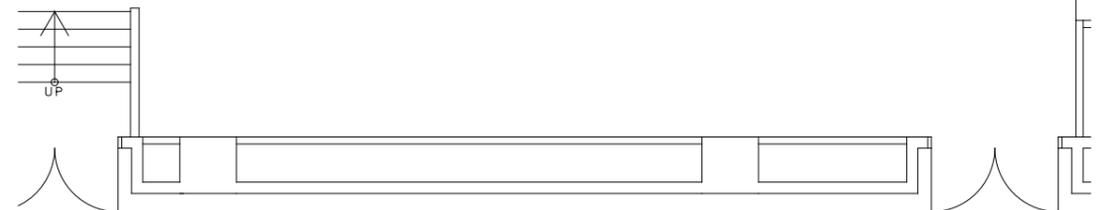
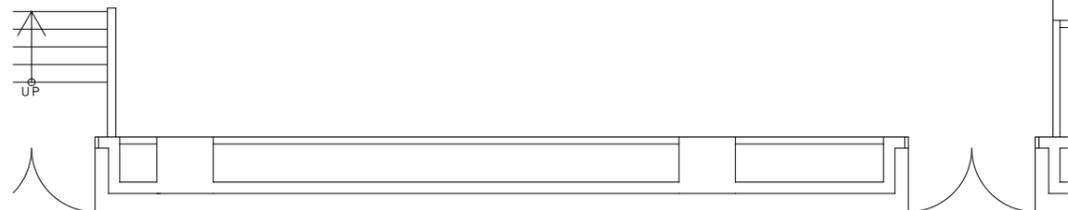
講義棟2号館 改修後トイレ平面図 1:50

- 凡例
- ▽ 人感センサー 脚機
  - ▽ 人感センサー 子機
  - F 人感センサー 検知距離調整機
  - F 人感センサー 検知距離調整機

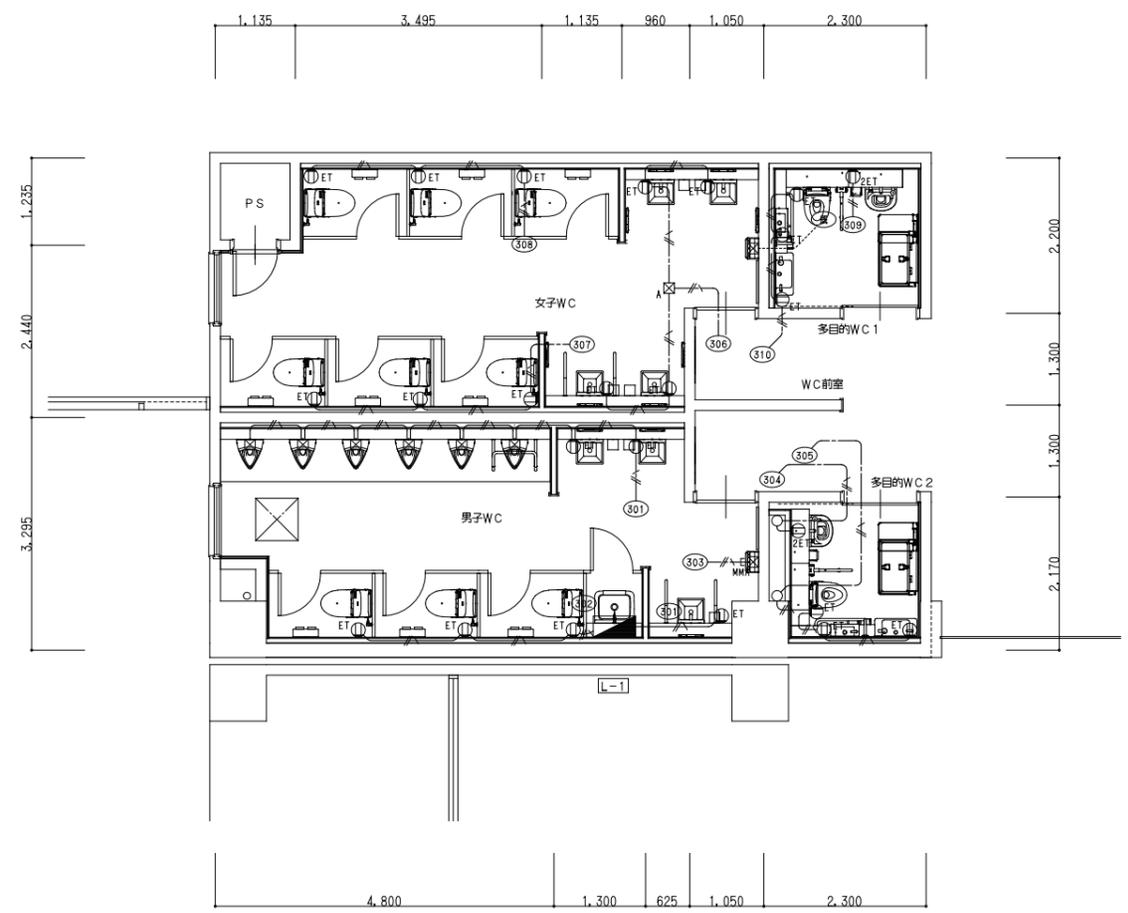
- 注記
- 補記の配線・配管は下記による。
- AE1. 2-2C (こるがし)
  - AE1. 2-3C (PF16)
  - EM-EEF2. 0-2C (こるがし)
  - EM-EEF2. 0-3C (こるがし)
  - EM-EEF2. 0-2CX2 (こるがし)

撤去機器リスト

室名	機器名称	図記号	仕様・形状	数量	備考
女子便所	埋込コンセント	⓪ ET	2P15AX1 ET付 金属プレート	4	再使用しない
	埋込コンセント	⓪ 2ET	2P15AX2 ET付 金属プレート	1	再使用しない
	露出コンセント	⓪	2P15AX1	1	再使用しない
男子便所	埋込コンセント	⓪ ET	2P15AX1 ET付 金属プレート	2	再使用しない
	埋込コンセント	⓪ 2ET	2P15AX2 ET付 金属プレート	1	再使用しない
	露出コンセント	⓪	2P15AX1	1	再使用しない
身障者便所1	埋込コンセント	⓪ ET	2P15AX1 ET付 金属プレート	2	再使用しない
身障者便所2	埋込コンセント	⓪ ET	2P15AX1 ET付 金属プレート	2	再使用しない



講義棟2号館 改修前トイレ平面図 1:50

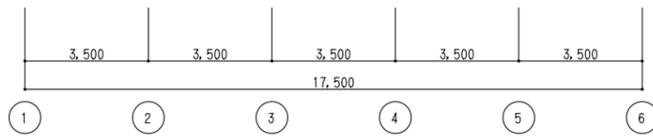
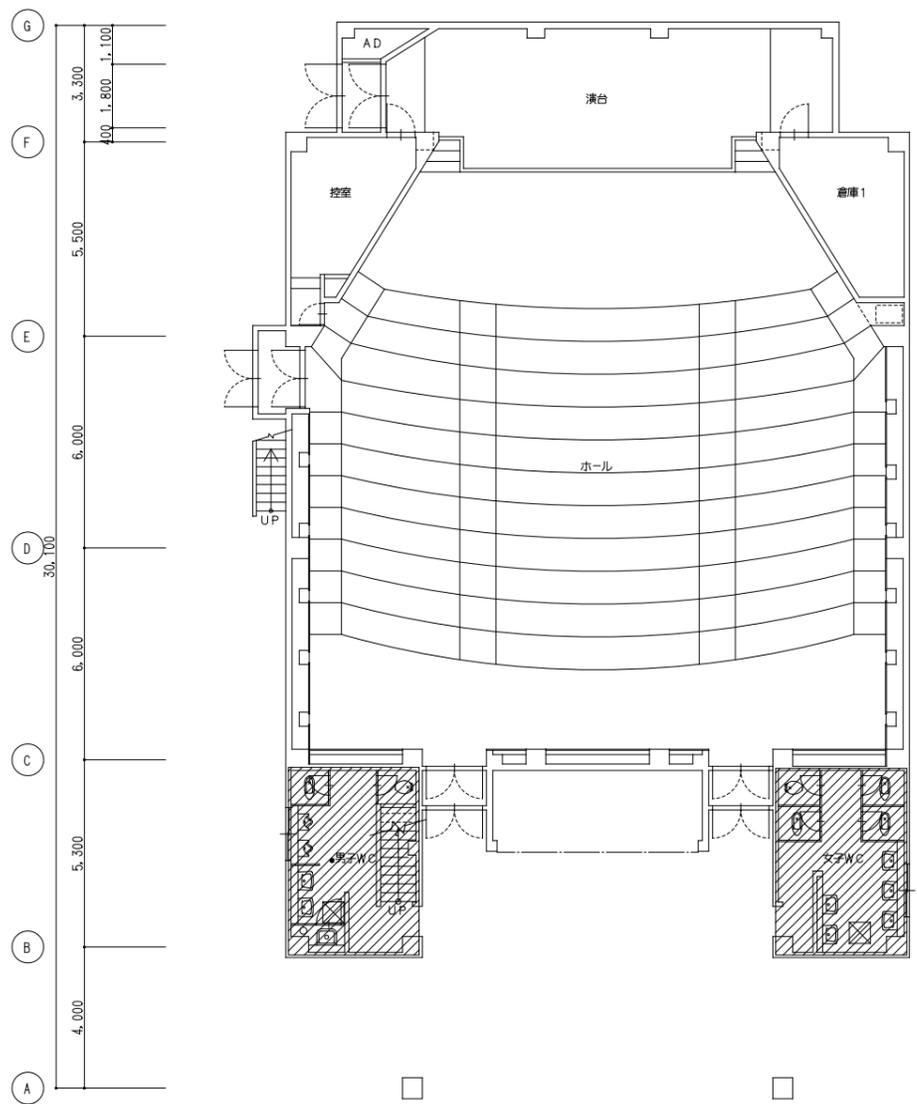
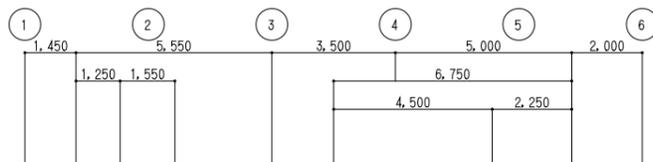


講義棟2号館 改修後トイレ平面図 1:50

凡例  
 MMA 1種金属線/A型  
 注記  
 補記なき配線・配管は下記による。  
 --- VVF2.0-3C (ころがし)  
 図中 表示部分は撤去範囲を示す。

凡例  
 アウトレットボックス  
 プルボックス SS200X200X200  
 2P15AX1 ET付  
 2P15AX2 ET付  
 1種金属線/A型(コーナーボックスを見込む事)  
 注記  
 補記なき配線・配管は下記による。  
 --- EM-EFF2.0-3C (ころがし)  
 --- EM-EFF2.0-3C (PF16)





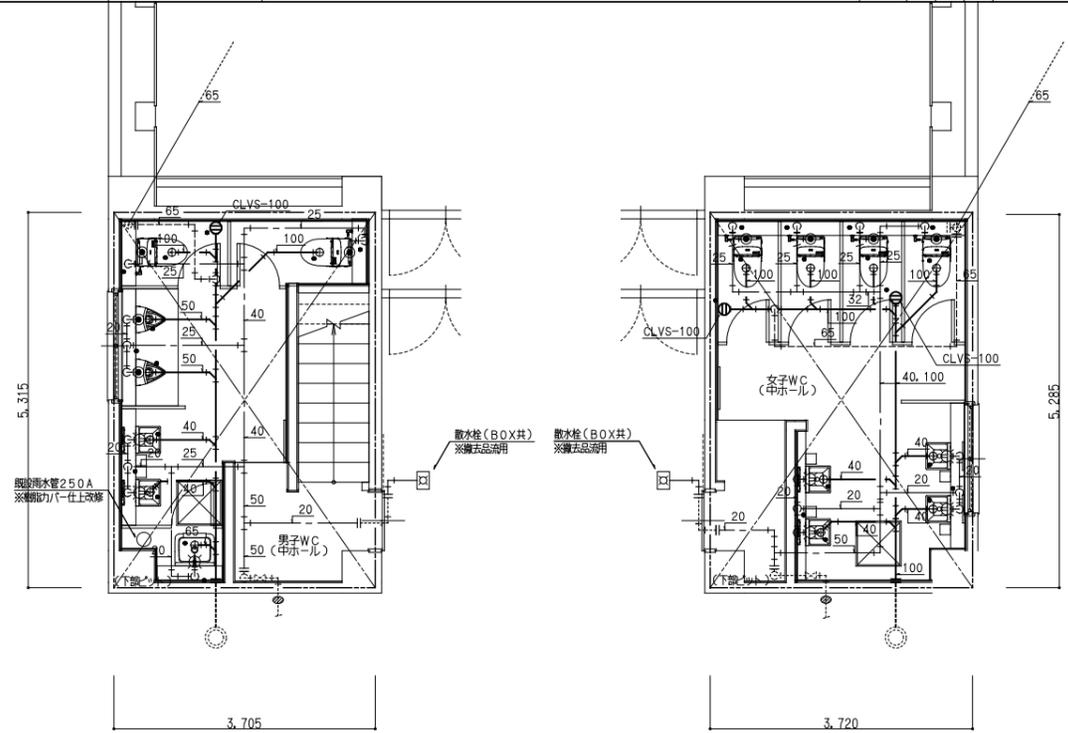
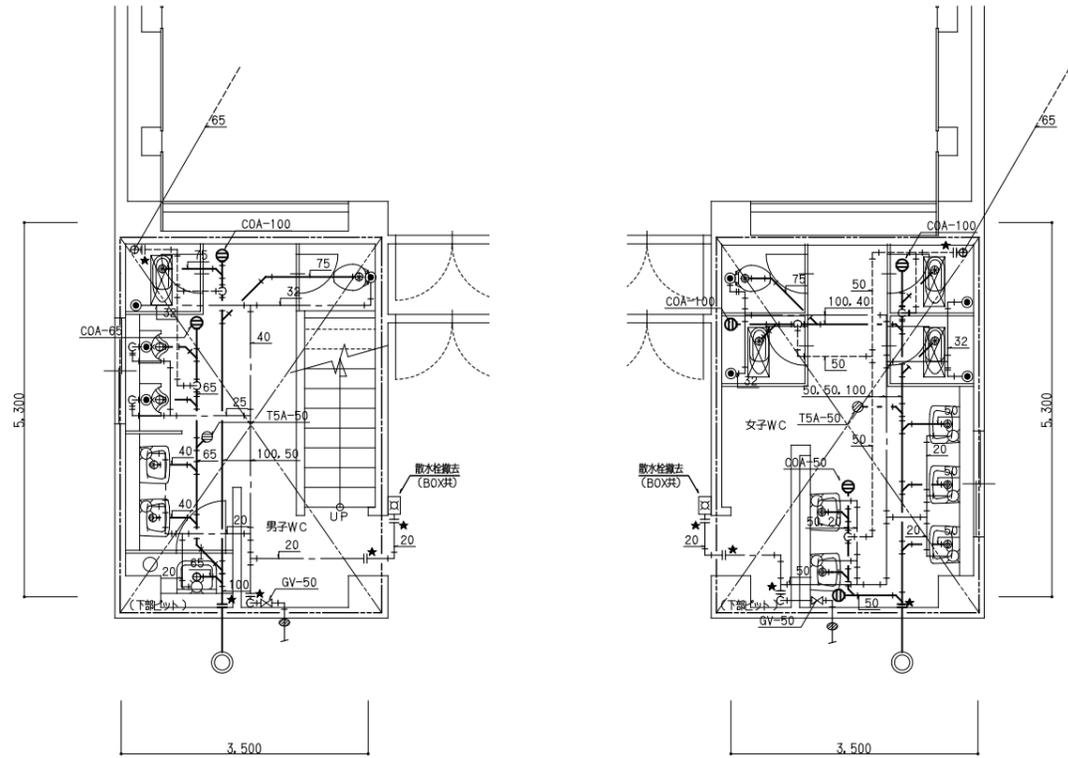
1階平面図 1:100 注記) 図中斜線は改修工事範囲を示す。

撤去衛生器具明細表

名称	型式	付属品・仕様	数量	1階		備考
				男子WC	女子WC	
洋風大便器	C-21	TV150NL (フラッシュ併付一式), フタ付き便座, 紙巻器	2	1	1	
和風大便器	C-75F	TV150NB (フラッシュ併付一式), 紙巻器	4	1	3	
壁掛ストール小便器	U-37	T60S (フラッシュ併付一式)	2	2		
洗面器	L-221	立水栓, 水石継入	7	2	5	
掃除用流し	U-29	機水栓	1	1		
大型鏡		(建築工事)	2	1	1	

衛生器具明細表

名称	型式	付属品・仕様	数量	1階		備考
				男子WC	女子WC	
洋風大便器	CFS494CHNA	フラッシュ/リブ式, TCF5523S (洗浄暖房便座), YH701 (欄付二連紙巻器)	6	2	4	
壁掛小便器	UFS900JCS	低リブタイプ, センサー一体型	2	2		
壁掛洗面器	LSB135AA	壁掛ハイバック型, 自動水栓, 水石継付脱付	6	2	4	
掃除用流し	SK22A	TK22, T23AE20, TN114, T9RJ	1	1		
化粧鏡	YMK51K	耐食鏡 寸法 360X1100	4	2	2	
化粧棚	YKH50A	アルミ製 寸法 150X150	6	2	4	
化粧棚	YKH51A	アルミ製 寸法 300X150	6	2	4	
化粧棚		(建築工事) 寸法 360X1000	2		2	
化粧棚		(建築工事) 寸法 600X1800	2	1	1	



中ホール 改修前トイレ平面図 1:50

注記)  
 ・改修範囲内の衛生器具及び配管に関しては基本全て撤去・更新とする事。  
 ・図中★は配管箇所を示す。  
 ・器具及び配管撤去に伴う溝はつりや貫通及びその補修は本工事とし、仕上り工事は建築工事とする。  
 ・図中□の和風便器は、器具撤去及びスラブ削りとも建築工事とする。  
 ・男子及び女子便所範囲の床下はビッド内配管を示す。  
 ・図中◎は天井内配管を示す。

中ホール 改修後トイレ平面図 1:50

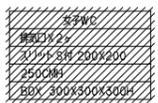
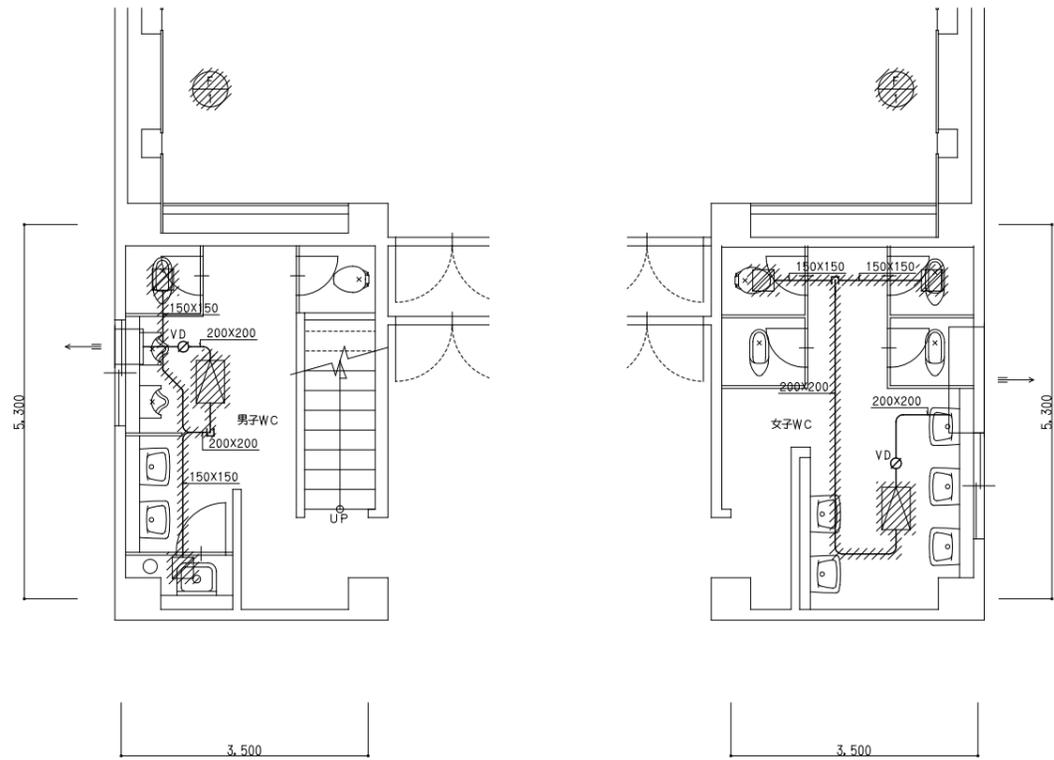
注記)  
 ・図中△は高圧配管を示す。  
 ・図中●はダイヤモンド貫通箇所を示す。

凡例(既設配管)

記号	名称	仕様	備考
---	給水管	ライニング鋼管	JWWAK116 VB
→	汚水管	硬質塩化ビニル管	JIS K6741 VP
—	雑排水管	硬質塩化ビニル管	JIS K6741 VP
----	通気管	硬質塩化ビニル管	JIS K6741 VP

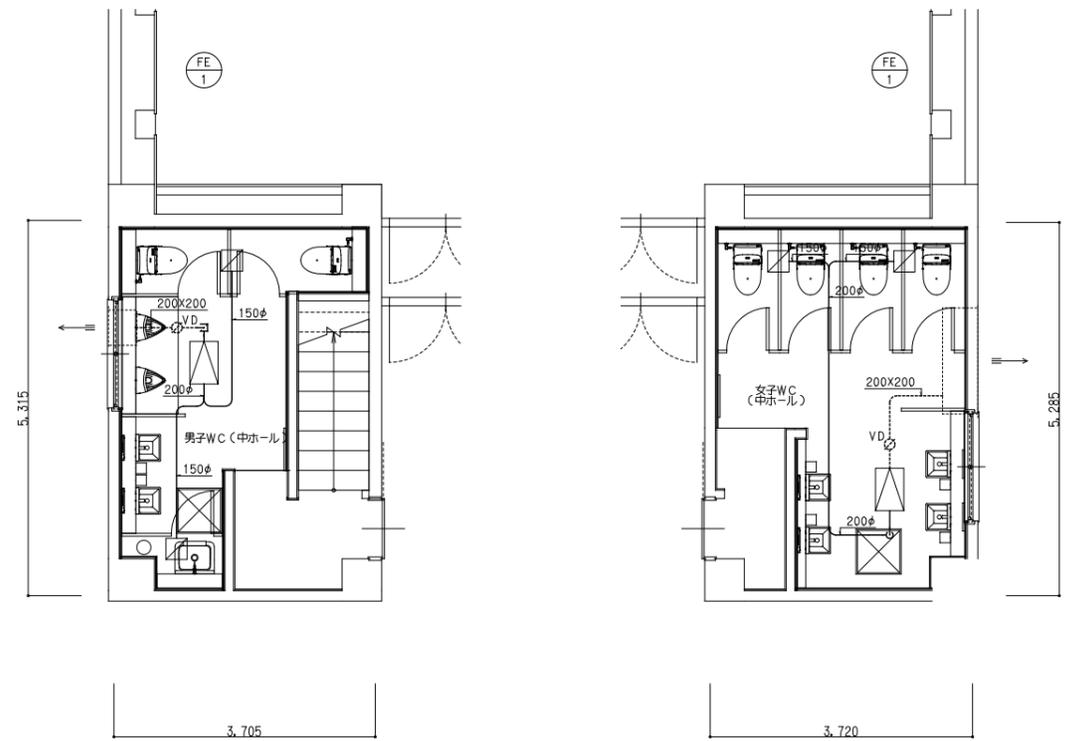
撤去機器一覧表		仕様	電源		台数	設置場所 室名	備考
機器番号	機器名称		消費電力	相(φ)			
F 1	換気扇	中間ダクト取付型 シロココファン 低騒音タイプ	100 W	1	100	2	
		200φX500CMH				(1)	男子WC
						(1)	女子WC

主要機器明細表		仕様	電源		台数	設置場所 室名	備考
機器番号	機器名称		消費電力	相(φ)			
FE 1	排気ファン	ストレートシロココファン 消音形	87.5 W	1	100	2	
		#1 1/4X500m <sup>2</sup> /hX150Pa				(1)	男子WC
		給排気グリル(消音形) 150φ用X2ヶ				(1)	女子WC



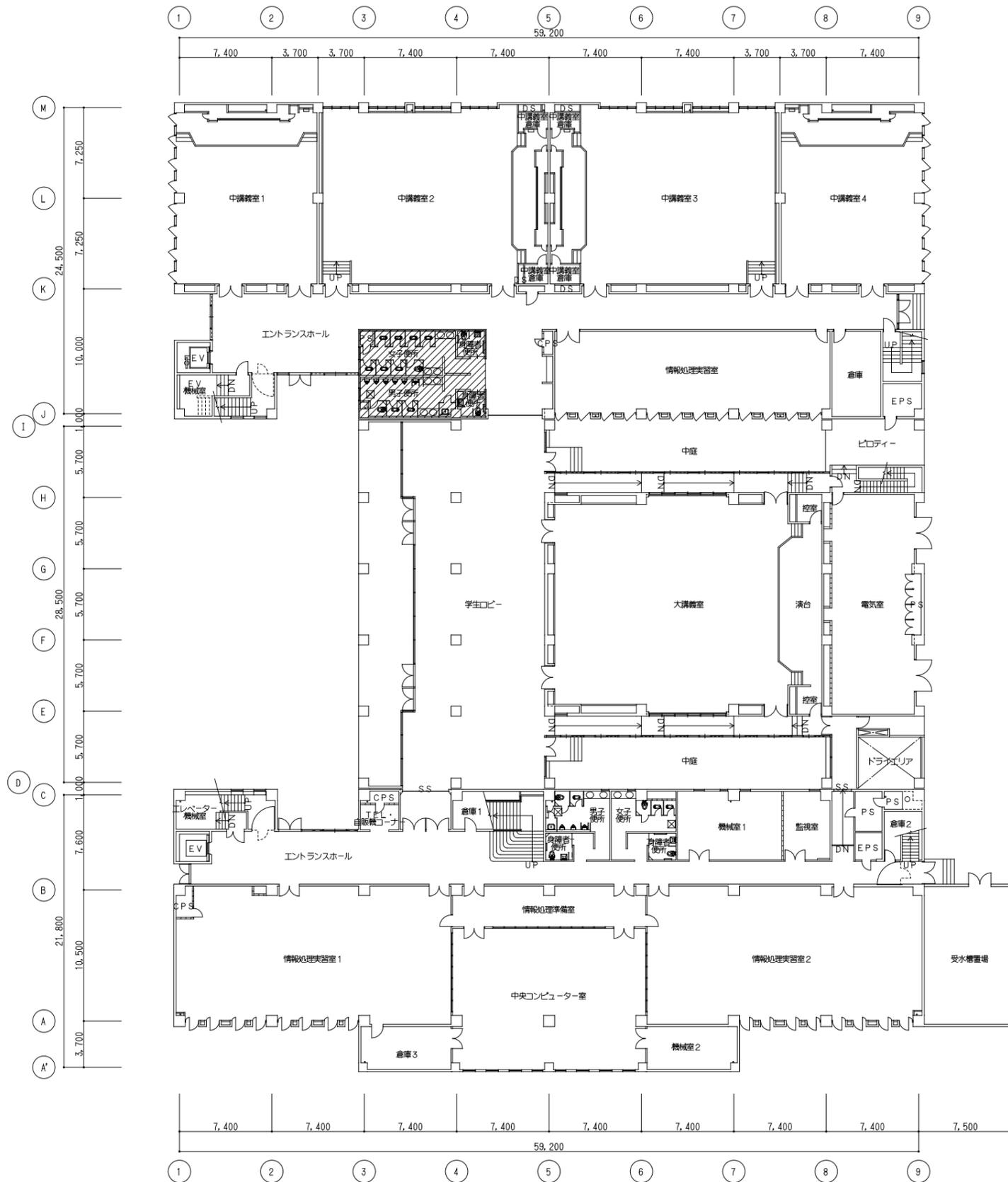
中ホール 改修前トイレ平面図 1:50

注記) 図中 //は機種及びダクト撤去範囲を示す。



中ホール 改修後トイレ平面図 1:50

注記) 図中点線は取付ダクトを示す。



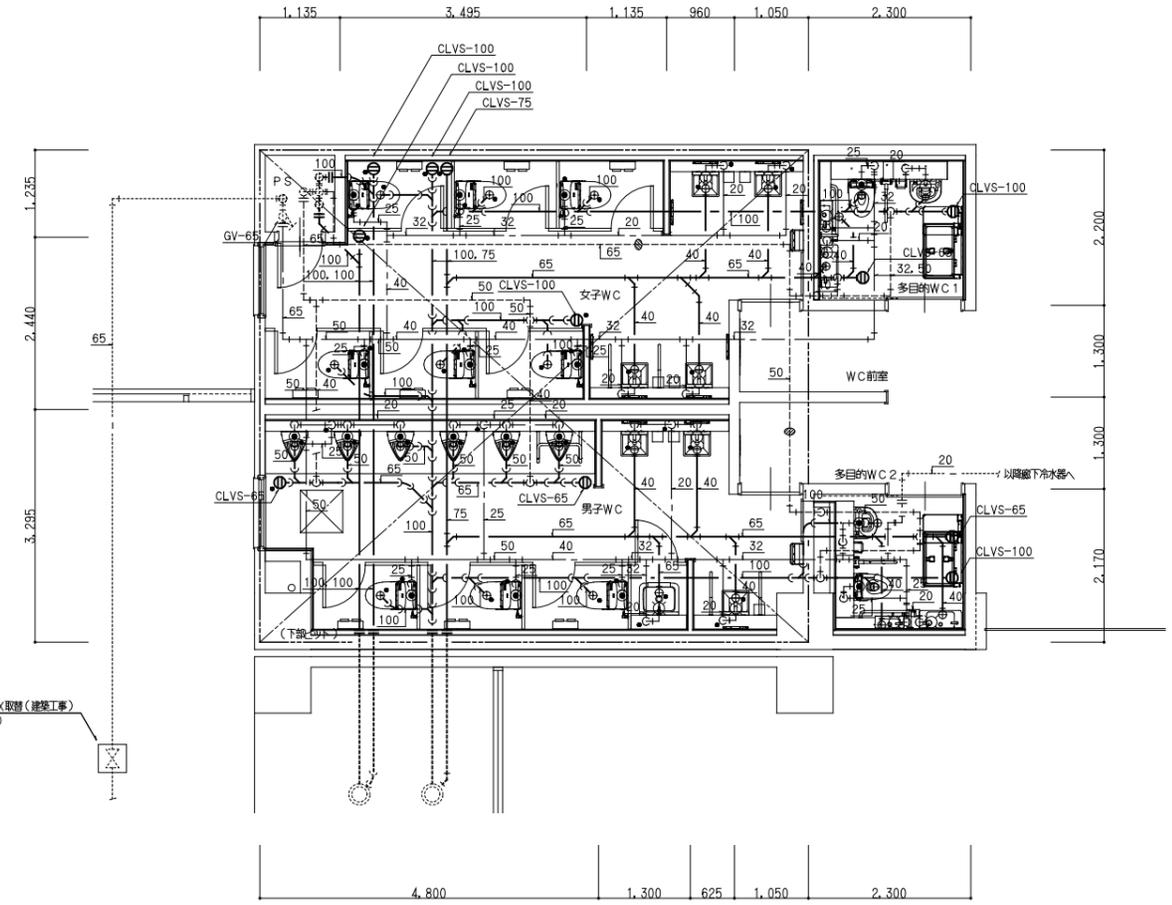
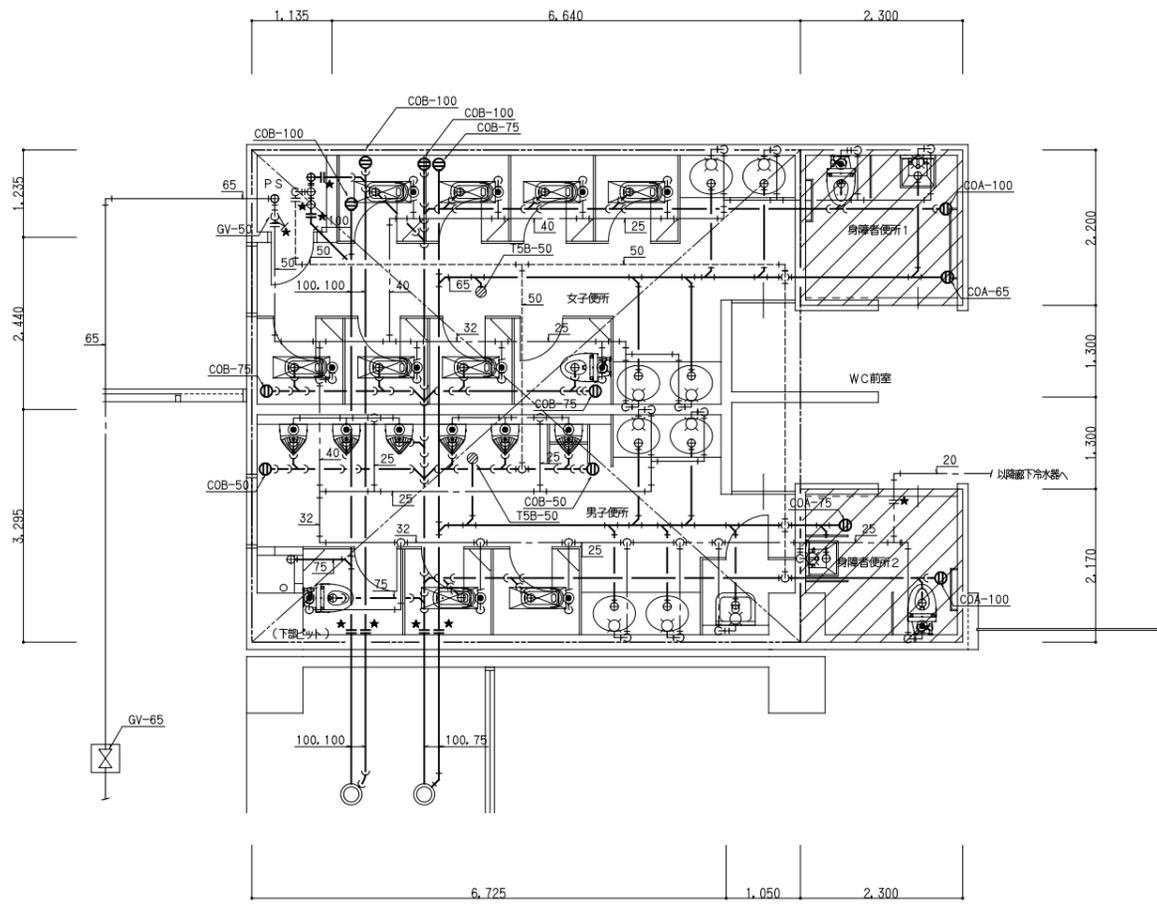
1階平面図 1:200 注記) 図中斜線は改修工事範囲を示す。

撤去衛生器具明細表

名称	型式	付属品・仕様	数量	1階					備考
				女子便所	男子便所	身障者便所1	身障者便所2		
洋風大便器	C48	TV750SRV1, TC272N, TS116MD	2	1	1				
和風大便器	C750VC	TV750CR, TS116MD	9	7	2				
身障者用大便器	C48	TV140BR, TU141Q, TS40L, TC271N, TS116MD	2			1	1		
小便器	U406C	TEA95	5	5					
小便器	U307C	TEA95	1	1					
洗面器	L525T5	TL605A	4	2	2				
身障者用洗面器	L103D	T205Q	2			1	1		
掃除用流し	SK22A	T23AE20	1		1				
トイレ用騒音装置	TES112		9	8	1				
シートペーパー	YR30		4	1	1	1	1		
手器	T113BU22同等品	小便器用	1	1					
手器	T113BP23同等品	洗面器(L103)用	2			1	1		
手器	T113BL10同等品	L型	2			1	1		
手器	T113BP22同等品	P型	2			1	1		
化粧棚	YKH50A同等品		3	3					
書類置き棚	YKH53A同等品		2	2					
ダブルフック	YKH52WAR同等品		3	3					
フィッティングボード			1	1					
ハンドドライヤー	TYC110WR		2	1	1				
化粧鏡		寸法 400X900H	2			1	1		
化粧鏡		寸法 480X1040H	1	1					
化粧鏡		寸法 300X1500H	1	1					
大型鏡		(建築工事)	3	2	1				

衛生器具明細表

名称	型式	付属品・仕様	数量	1階				備考
				女子WC	男子WC	多目的WC1	多目的WC2	
洋風大便器	CFS494CHNA	フラッシュ/リブ式, TCF5523S(洗浄暖房機能), YH701(欄干遮断装置)	9	6	3			
壁掛小便器	UFS900JCS	壁リフタイプ, センサー一体型	6		6			
壁掛洗面器	LSB135AA	壁掛ハイバック型, 自動水栓, 水石継付給付	7	4	3			
掃除用流し	SK22A	TK22, T23AE20, TN114, T9RJ	1	1				
手器	T112CU22	小便器用	1	1				
手器	T112CP31	洗面器用	4	2	2			
化粧鏡	YMK51K	耐食鏡 寸法 360X1100	7	4	3			
化粧棚	YKH50A	アルミ製 寸法 150X150	7	4	3			
化粧棚	YKH51A	アルミ製 寸法 300X150	9	6	3			
シングルフック	YKH52AR	アルミ製	4	4				
コンパクト多機能トイレバック	UADB61L1A1ASN1WA	TCF5840AUPR(洗浄暖房機能)	1		1			
コンパクト多機能トイレバック	UADAK21L1A1ASN1WA	TCF5840AUPR(洗浄暖房機能)	1			1		
ペーパーシート	YKA25R	固定金具共	2		1	1		
フィッティングボード	YKA41	固定金具共	1			1		
化粧鏡	YM6090A	一般鏡 寸法 600X900	2		1	1		
ハンドドライヤー	TYC420W	ヒーターあり 電源: AC100V	2	1	1			
化粧鏡		(建築工事) 全身鏡 寸法 600X1800	2	1	1			



講義棟2号館 改修前トイレ平面図 1:50

講義棟2号館 改修後トイレ平面図 1:50

- 注記)
- 改修範囲内の衛生器具及び配管に関しては基本全て撤去・更新とする事。
  - 図中●は配管の断端を示す。
  - 器具及び配管撤去に伴う溝はつりや貫通及びその補修は本工事とし、仕上り工事は建築工事とする。
  - 図中斜線は土間新設/撤去工事（建築工事）範囲を示す。
  - 図中斜線/の和風便器は、器具撤去及びスラブ製成とも建築工事とする。
  - 男子及び女子便所範囲の床下はヒット内配管を示す。

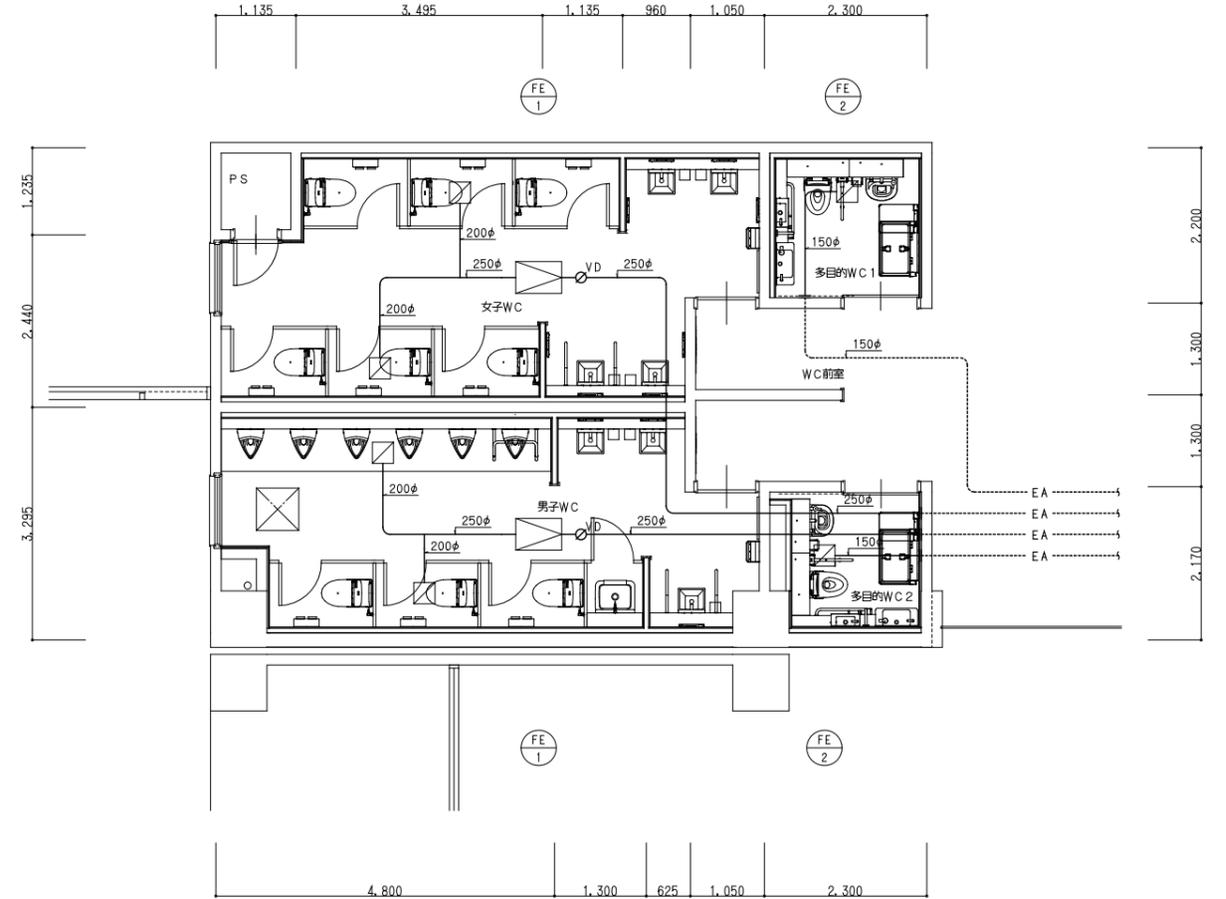
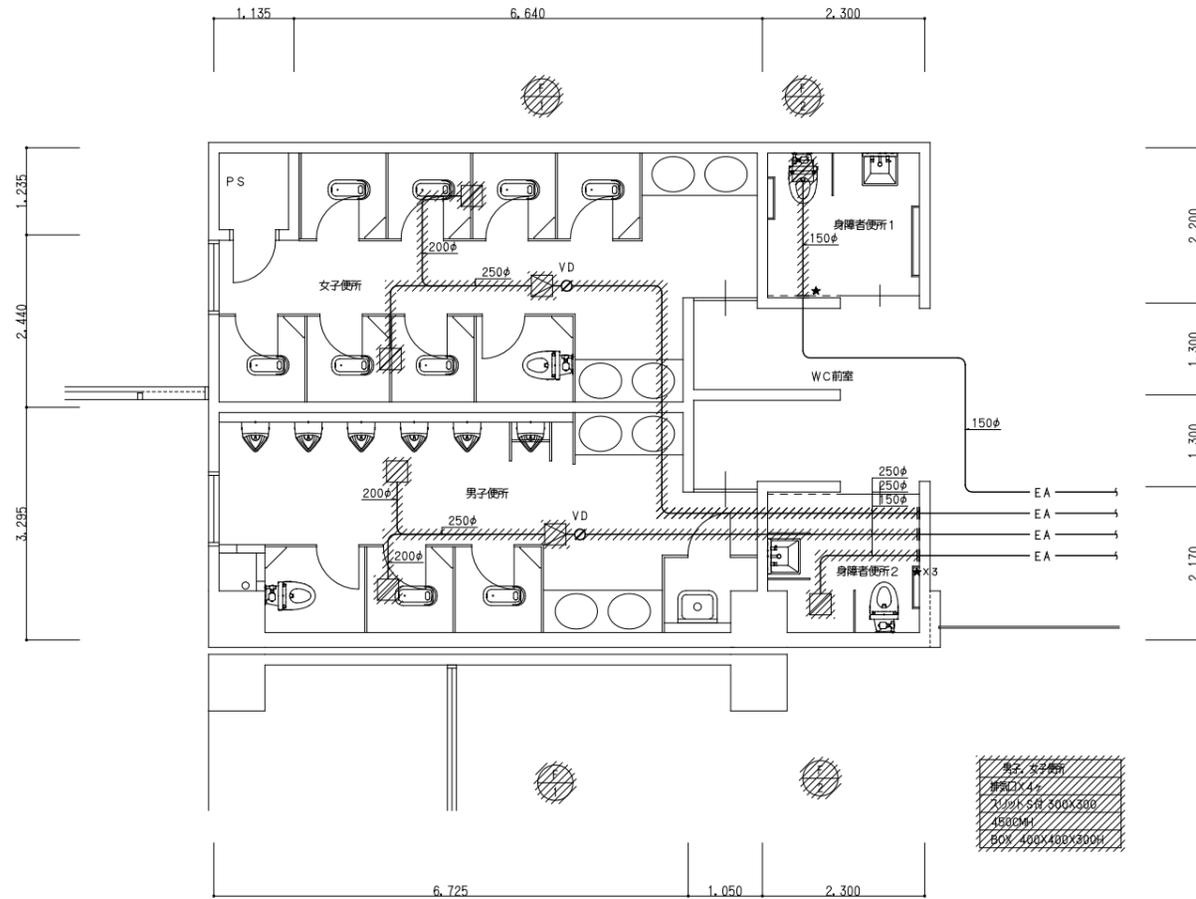
- 注記)
- 図中●は撤去、既設配管を示す。
  - 図中○は天井内配管を示す。
  - 図中●はダイアモンド貫通部を示す。

凡例（既設配管）

記号	名称	仕様	備考
---	給水管	ライニング鋼管	JWWAK116 VB
→	汚水管	硬質塩化ビニル管	JIS K6741 VP
—	雑排水管	硬質塩化ビニル管	JIS K6741 VP
----	通気管	硬質塩化ビニル管	JIS K6741 VP

撤去機器一覧表									
機器番号	機器名称	仕様	電源			台数	設置場所		備考
			消費電力	相(φ)	電圧(V)		室名		
F1	換気扇	中間ダクト取付型 シロツコファン 低騒音タイプ	100 W	1	100	2			
		250φX900CMHX5mmAq				(1)	1	女子便所	
						(1)	1	男子便所	
F2	換気扇	天井取付型	50 W	1	100	2			
		150φX200CMHX3mmAq				(1)	1	身障者便所1	
						(1)	1	身障者便所2	

主要機器明細表									
機器番号	機器名称	仕様	電源			台数	設置場所		備考
			消費電力	相(φ)	電圧(V)		室名		
FE1	排気ファン	ストレートシロツコファン 消音形	202 W	1	100	2			
		#1 1/2X900m <sup>2</sup> /hX200Pa				(1)	1	女子便所	
		給排気グリル(消音形)200φ用X2ヶ共				(1)	1	男子便所	
FE2	換気扇	天井埋込形 低騒音プラスチックタイプ	49 W	1	100	2			
		150φX200m <sup>2</sup> /hX120Pa				(1)	1	多目的便所1	
						(1)	1	多目的便所2	



講義棟2号館 改修前トイレ平面図 1:50

注記)  
 ・図中※は撤去機器及びダクト範囲を示す。  
 ・図中★はダクト切断箇所を示す。

講義棟2号館 改修後トイレ平面図 1:50

注記)  
 ・図中点線は旧ダクトを示す。